

第四十六回帝國議會
衆議院

恩給法改正ニ關スル建議案外二件

恩給法改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)
恩給法改正ニ關スル建議案(三浦得一郎君提出)
恩給法案

委員會會議錄(速記)第四回

會議
大正十二年二月二十日午前十時三十分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 光威君

理事 八田 宗吉君

理事 三浦得一郎君

理事 根本 正君

理事 津野田是重君

理事 野村 嘉六君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣兼海軍大臣男爵

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長

法制局長官

法制局參事官

大藏省主計局長

大藏省參事官

大藏省書記官

大藏省書記官

陸軍一等主計正

文部省參事官

本日の會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法案(政府提出)

○高橋委員長 開會致シマス

○三善委員 恩給法ノ改正ニ付キマシテ吾々ハ建議案ヲ提出シテ致シマス

其建議案ノ趣旨ハ、既ニ本會ニ於テ又委員

會ニ於テ述ベマシタカラ今茲ニ繰返シマセヌガ、建議案ノ

大目的ハ、文武官並巡査看守等ノ恩給及遺族扶助料撥兵ノ

增加恩給、此等總テノ増額ヲ致スコトガ大目的デアリマス、

而シテ是等ハ昨年ノ議會ニ於テ我黨ハ勿論、各派ヨリモ種々

ナル建議案ガ出マシテ、其建議案ノ種類七八種デアリマ

シタガ、總テソレハ可決ヲ致シマシタ、ソレニ基イテ政府ハ

其後非常努力ヲサレマシテ、當局恩給局長ハ極メテ熱誠

ニ、極メテ公平ニ、今回ノ恩給法案ガ茲ニ提出サレタ譯デア

リマス、大體ニ於テ法規ノ上カラ申シマシテ、從來ノ恩給法

ヲ改正シマス上ニ於テハ吾々非常ニ満足ヲ致シマス、當局

ノ此改正ニ付キマシテハ多謝致シマスノデアリマス、唯、

吾々ノ建議ノ目的ガ増額ヲ主トシマスノデアリマスカラ、此

入江 貫一君

馬場 鐵一君

黒崎 定三君

田 昌君

藤井 眞信君

太田嘉太郎君

川越 文雄君

白川 義則君

飯塚 唯助君

下村 壽一君

加藤友三郎君

市來 乙彦君

長谷場 敦君

石川 三郎君

平田民之助君

仙波 太郎君

松實喜代太君

高木 正年君

清之君

三善 清之君

八田 宗吉君

高橋 光威君

三浦得一郎君

根本 正君

津野田是重君

野村 嘉六君

內閣總理大臣兼海軍大臣男爵

法案ニ付キマシテ増額ノ部分ニ於テ、ソレト修正ヲ加ヘ
ナケレバナラヌト思フテ居ルノデアリマス、大體諸君ノ御
質問モ殆ド盡キマシタウデアリマス、是カラ此法案
案ノ審議ニ掛リタイト思フデアリマス、然レモ茲ニ見通
スコトノ出来ナイ要件ガ此法案ニ漏レテ居リマス、ソレハ
矢張昨年ノ建議案ノ中ニアリマス、其以前カラ請願等ハ
屢々兩院ニ於テ採擇ニナツテ居ルノデアリマス、殊ニ昨年
ハ建議案ヲ可決致シマシタ、北海道ノ屯田兵、其一部ハ既ニ
恩給ヲ受ケテ居リマス、他ノ一部ニ於テ漏レテ居ル者ガ
アルノデアリマス、中ス迄モナク明治維新ノ當時ニ於キマ
シテ、北海道ハ鬱鬱タル大森林地デアツテ、殆ド人跡ノ到ラ
ザル處、即チ獵ノ興隆タルシ處デアツタノデアリマス、寒
風ト闘フ屯田兵ナルモノハ、非常ナル勞苦ヲ致シタノデア
リマス、其當時露國ノ瓜分ハ著々トシテ東南ニ伸ビツ、ア
ル危急ニ際シテ、我が國防上最モ必要ノ見地カラシテ、明治
政府ハ明治八年ニ屯田兵ヲ北海道ノ要衝ノ地ニ配置致シタ
ノデアリマス、當時我が國力ハ極メテ微弱デアリマシタ故ニ、
漸ク六個師團ヲ以テ、内地而モ本土ト九州ニミ鎮座ヲ置
イタノデアリマス、而シテ我が北門ノ防備ニ任ジ、殊ニ國家
邦土ノ開拓ノ先驅ニ任ジマシタ者ハ即チ屯田兵デアリマス、
斯ル國力微弱ナ時デアリマス、故ニ之ニ對シテ國家ハ多
クノ給料ヲ與フル能ハズ、僅ニ三箇年間少量ノ米ト鹽トヲ
給シテ以テ、此重大ナル兵務ニ任ジタノデアリマス、洵ニ貧
弱ナル國力經濟ノ已ムヲ得ザル事デアツタト思フデアリマ
マス、然レモ其後二十七年ノ戰役以後、著々トシテ我が國運
ハ隆盛ニ趨イデ今日ヲ致シタ次第デアリマス、此二十七八
年ノ戰役ニモ、此屯田兵ハ國家ニ多大ノ貢獻ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、而シテ今日生存致シテ居ル者ハ僅ニ千名ニ
足ラナイ狀況デアリ、大正六年恩給法改正ノ際ニ其一部ハ
受ケマシタガ、他ノ一部ハ現在受ケナイノデアリマス、是ハ
實ニ歷代ノ政府ガ此屯田兵ニ酬ユルノ甚ダ冷淡甚ダ政治
上ノ是ハ缺陷デアツタト信ズルノデアリマス、只今申シタ如
ク第四十五議會マデニ屢々兩院ニ於テ請願ハ通過シテ居リ、
四十五議會ニ於テハ建議案モ通過致シテ居ルノデアリマス、
幸ニ此度ハ恩給法ノ改正ノ場合デアリマス、ルカラ此際、洵
レテ居ル者ニ對シテ、同様ノ恩給ヲ給與スルコトハ必要ノ
事デアリ、此點ニ付キマシテ、先以テ恩給局長ノ御意見ヲ伺
ヒマス

○入江政府委員 屯田兵役ニ服シタル者ノ服務期間ヲ恩給
法ニ通算シテ貰ヒタイト云フ希望ハ、數年前カラ屢々起ツタ
ノデアリマス、從來屯田兵役期間ハ恩給ニ通算スベキ限リ
ニ非ズトシテ、之ヲ通算カラ除外サレタ來タノデアリマス、
其譯ハ屯田兵役ハ普通ノ兵役ト其性質ヲ異ニスル、即チ半
農半兵デアリ、一定ノ土地ヲ給セラレ、一定ノ生活資料ヲ給
セラレテ兵役ニ服シ、其勤務モ普通ノ師團兵ノ如ク、日々兵
舍ニ起居シテ勤務ニ従事スルコト云フ性質ノモノデナク、一
定ノ期間兵役ニ従事シ、其跡ハ日ヲ定メテ練兵ニ従事スル、
他ノ日ハ退イテ自己ニ與ヘラレタ所ノ田畑ヲ耕作スル、サ
ウシテ一定ノ期間其任務ニ服シタル者ハ、五町歩ノ田畑ヲ
永久ニ自己ノ所有トシテ老後ノ計ヲ爲スコトガ出来得ル、
斯ウ云フ遣方デアリマシタガ故ニ、普通ノ兵役ノ如ク全ク
自己ノ業務ヲ廢シ、晩年ノ計ヲ爲スコトモ出来ナイヤウナ
狀態ニ置カレタモノデナイ、故ニ普通ノ兵役ノ如ク之ヲ恩
給年限ニ算入シナイ、但シ若シ屯田兵役ニ在ル者ガ軍務ニ
従フ、即チ日清日露戰爭ノ如キ軍務ニ従事シタコト云フ場合
ニハ、勿論恩給年限ニ通算スルコト云フ立前デアリマシタガ
故ニ、之ヲ普通ノ兵役ト區別シテ、恩給ノ年限ニ通算シナ
カッタノデアリマス、併ナガラ制度ノ正面ハ只今申上ダタヤ
ウナ實情デアリマシタガ、日清戰爭前後ニ於キマシテ、今三
善代議士ヨリ御話ノ如ク、東洋ノ風雲ガ急デアツテ、日清戰
爭ノ處ガアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、定メラレ
タ如ク一週ニ一回、若クハ三回銃ヲ擔テ訓練スルコト云フ
コトハセズシテ、十分ニ之ニ訓練ヲ加ヘ、一朝有事ハ時ニ師
團兵ニ劣ラザル成績ヲ擧ゲナケレバナラヌト云フコトデ、
練兵ノ狀況ナドモ初ノ考トハ違ツテ、事實ニ於テハ普通ノ師
團兵ト異ラナイ位ニ訓練ヲシタ實際モアルヤウニ承ツテ居
リマス、ソレカラ尙ホ屯田兵村ニ於ケル軍務ニ従フ者、常務
ニ従フ者、常務ニ従フ者ト申シマス、屯田兵ノ大隊ナリ
中隊ナリニ於テ、其軍隊ノ日常ノ事務ニ従事スル者、是等ハ
定メラレタルガ如ク一週ニ數回出マシテ銃ヲ擔テ出テ、跡
ハ退イテ耕作ヲスルコト云フ譯ニ行カナカッタノデアリマス、
斯様ナ實情ガアリマス爲ニ、大正六年九年ノ改正ノ時ニ其
實情ヲ酌シテ、屯田兵村ニ於ケル常務ニ従事スル者ハ、是ハ
師團兵ト同ジク其期間ハ恩給ニ通算スルコト云フコトニ改
正セラレタノデアリマス、尙ホ先程申上ダマシタ通り、或ハ
日清戰爭若クハ日露戰爭ニ當ツテ、其勤務ノ狀態ガ普通ノ師
團ト殆ド同様デアリタコト云フ事實ガアル以上ハ、其期間ハ勿
論恩給ニ通算シテ宜シイコト考ヘルノデアリマス、併
ナガラ法規ノ上カラハ半農半兵デアリマスガ、其練兵ノ事
實ガ今申上ゲル如クデアツタコト云フコトノ實情ヲ調査シタ

上デナケレバ、何時カラ何時迄ノ恩給期間ニ通算スルガ通當アルヤト云フコトガ分リマセヌ、唯、苟モ屯田兵役ニ服シタ期間ハ、退イテ田畑ノ耕作ニ從事シテ居ル期間モ恩給年限ニ通算スルコトハ、制度ノ上カラ公平ヲ保ツ所以デアリマセヌ、併ナガラ軍務ニ從事シタ年限、及軍務ニ服シタ狀況ヲ調査スルコトニ致シマシテ、陸軍當局ニ於キマシテ昨年以來非常ニ熱心ニ調査サレテ居リマヌ、併シ御承知ノ通り色々複雑デアリ、且又事實ニ於テハ其時代々々ニ依ッテ色々違フ状態ニ在リマヌモノデアリマヌガ故ニ、マダ十分ナ調査ヲ得タト云フ報告ニ接シナイノデアリマヌ、併ナガラ不日調査ガ完了致シマヌレバ、サウシテ其服役期間ニ於テ恩給ノ年限ニ通算スルヲ至當ト考ヘラレバヤウナ結果ヲ見ルニ於キマシテハ、相當ニ之ニ改正ヲ加ヘマシテ、恩給年限通算ノ制度ヲ立テルト云フコトハ決シテ異存ハナイ次第デアリマヌ、只今モ申上ゲマシタ通り、總テノ調査ガ未ダ完全シテ居リマセヌ爲ニ、立案モ隨テ遅レテ居ルヤウナ次第デアリマヌ

○高橋委員長 一寸御相談デスガ、今大藏大臣ハ他ノ方カラモ出席ヲ要求サレテ居リマヌガ、併シ要求ニ依ッテ此處ニ御出ニナツテ居リマヌカラ、先ヅ大藏大臣ニ關係スル方カラヤリマシテ、ソレカラアナタノ方ニ續イテヤツテ戴キタイト思ヒマヌ、何卒御諒承ヲ願ヒマヌ

○根本委員 私ハ大藏大臣ニ伺ヒタイノデアリマヌガ、此度ノ恩給法ノ改正ハ、主トシテ吾々ノ希望スル所ハ此増額デアリマヌ、此事ニ付テ既ニ先般私ガ質問シタ時分ニ、當局ノ御答ノ中ニハ財政ノ都合ト云フヤウナコトモアリマシタガ、是迄ハ四分ノ一ト云フモノヲ恩給トシテ置ク、吾々ノ希望スル所即チ一般恩給者ノ希望スル所ハ、三分ノ一ニシテ貰ヒタイト云フノガ之ガ主デアツテ、其他細カナ事ハ恩給局長其他ニ向ッテ御尋シマシテモ宜ウゴザイマヌガ、此事ニ付テハ定メシソレノ御協議ノ上此案ガ無論提案サレタノデセウガ、佛蘭西ノ如キハ二分ノ一ト云フコトニナツテ居ル、何レヲ見デモ此恩給ニ國家ニ勳功アル人ニ對スル報酬デアツテ、ソレ相當ニ生活ノ出來ル程度ニ與ヘナケレバナラヌ、是ガ即チ文武官共ニ同率ニナラナケレバナラヌと思フ、ソレデアルカラ是ヨリ租税ノ改正、或ハ行政整理等ガ出來タ以上ハ、之ヲ爲サル御積リデアルカ、又此金額ニ付テハドレダケデアルカ、之ガ根本問題デアリマヌ、之ニ關聯シテ一ツ大藏大臣ニ伺ッテ置キタイノハ、軍備縮小ノ結果陸海軍トモ人ヲ減ズルニ付テハ、ソレ相當ノ賜金ヲ下サルコトニナツタ、此事ニ付テハ當局ヨリ御説明ガアリマシタガ、文官ハ恩給ノ外ニ、其省ニ依ッテ二箇月分呉レルカ或ハ一箇月分呉レルカ色々アリマヌガ、此度一時ニ多數ノ者ヲ免官スルカラ割

合ヲ多クスルト云フコトデ、軍人モ其通りデアルガ、此軍備縮小ト云フ事ノ爲ニハ日本國民ガ一般ニ利益ヲ受クベキモノデ、即チ租税ヲ減ラスト云フコトニナルノデアル、此度ノ軍備縮小ニ付テノ賜金ハ、假ニ戰爭ヲシテ大砲ヲ百門取ツタトスルト、ソレガ日本帝國國民ノ物デアアル、ソレヲ先ヅ半分ハ軍人ガ分ケテシマフト云フコトデハイケナイ、ソコデ勤続年限ノ割合デスガ、例ヘバ假リニ大將ニハ一萬七千圓、或ハ大佐ガ五千圓ト云フヤウニシテ大金ヲ下サルコトハ、洵ニ難イ事デアリマヌケレドモ、之ガ公平ニ日本國民ニサウ云フ割合デ租税モ減ラサレカドウカト云フコトガ、一ツノ疑問デアリマヌ、先日モ此事ニ付テ當局ニ伺ツタノデアリマヌガ、此勳績賜金ノ解釋ニ付テハ、政府ノ此金ノ割出シガ違フと思フ、是ハ大藏省デモ巨額ノ金デアルカラシテ、之ヲドウ云フ風ニ割ッテ將校ニ渡スト云フコトハ御承知デアラウト思ヒマヌガ、大將或ハ中將等ニシテ、今年明年ニ罷メル期限ノ來タ方ハ矢張一萬何千圓ヲ貰フ、是ハ所謂一時賜金デアレバ宜シイノデアル、行政官ガ十年勤メタカラ三箇月分アル、二十年勤メタカラ十箇月分アルト云フコトデ、一時賜金デアレバ多ク勤メタ人ニヤツテモ宜シイノデアルケレドモ、此軍備縮小カラ出タ金ハ多ク勤メタ人ニ多クヤラヌデモ宜イト云フコト、詰リ大將ヤ中將ガ罷メルト云フ時期ガ來テ居ルナラバ、之ガ普通ノ一時賜金、恩給ヲ貰フノハ宜シイケレドモ、勤続ト云フデ二十年勤メタカラ幾ラ、十年勤メ、八年勤メタカラ幾ラ々々ト云フコトニナルト、多ク勤メタ人程多ク、大尉、少佐、中佐ノヤウナ人ガ少ナクナル、此割出ハドウナルノデアリマヌガ、澤山勤メタ人ハ安クテモ宜シイと思フ、ソレヨリモ中尉大尉ノヤウナ、自分ハ軍人ニナツテ、國家ノ爲ニ犠牲ニナツテ鐵砲ヲ拵ヘルトカ、其他種々ノ事ニ付テ専心ニヤツタガ、是カラ百姓ニナルコトモ、行政官ニナルコトモ、司法官ニナルコトモ出來ヌト云フ、斯ウ云フ人デ、中佐ニモ大佐ニモナルコトノ出來ナイデ罷メタ人ニ多ク呉レルヤウニスレバ宜シイ、多ク勤メタカラト云フテ多クヤルト云フノハ、勤続賜金ト云フモノガ宜シイトシテモ、金ノ割方ガ甚ダ不都合デアアルマイカ、金額ノ所ハ能ク分リマセヌケレドモ、此割方ニ付テ大藏省ガ勤続賜金ト云フコトニシテ、巨額ノ金ヲ御支出ニナルト云フコトハドウ云フ御考デアルカ、伺ッテ置キタイ、此度ハ斯ウ云フ金デアラナラバ、是マデノ恩給ノ方ノ舊イ所デ罷メタ人ニモ下サラネバナラヌト、斯ウ云フ風ニモナリハシナイカ、大體ニ於テ大藏省ガ此四分ノ一ヲ三分ノ一トシテ下サルヤウニスル方針ヲ立テ、貰ヒタイ、此一箇條ダケ伺ッテ置キマヌ

○市來國務大臣 恩給ノ金額ヲ増加致シマヌル意思ハアルノデゴザイマヌ、大正十二年度ノ豫算ニハ、増加恩給ト扶助

料ノ幾分ノ金額ヲ増加致シマシタガ、増加ニ關スル法律案ハ大正十三年度ニ出來得ベクンバ提案シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマヌ、併シ今日ニ於テ確定シテ居ル譯デアリマセヌ、既ニ恩給額ヲ増加スルコトヲ必要ト考ヘテ居リマヌガ、今日ノ恩給ノ起算點ノ恩給ノ四分ノ一ヲ三分ノ一ニ改メルガ適當デアルカ、或ハ三分ノ一デナイ、他ノ數字ヲ適當トスルカニ付テハ、マダ政府ノ意見トシテ決定シテ居ルモノハ無いノデアリマヌ、兎ニ角四分ノ一以上ノ或ル相當ノ起算點ヲ設ケテアルコトガ、必要デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマヌ、先般軍備縮小竝ニ行政整理ノ際ニ實行ヲ致シマシタ、退職者ニ對スル勤続手当ノ計算ガ違フト云フ御話デアリマシタガ、成程地位ノ低イ人ニ對シテ成ブク多額ヲ給與シテ、地位ノ高イ人ニ對シテ少額ノ給與ヲスルト云フコトハ一理アルノデアリマヌ、併ナガラ勤続手当ノ關係ハ、勤続シタ年數ニ對シテ一ツノ功勞ト云フモノモ認メナケレバナラヌト云フコトガ、重大ノ關係デアルト考ヘマヌ、計算ノ目安ト致シマシテ、勤続手当ト退職手当ト兩方ニ區別シテ計算ノ基礎ヲ作ツタノデアリマヌガ、勤続手当ノ關係ニ於テハ只今申上ゲマシタ通り、長ク勤続シタ人ハソレダケノ功勞ガアル、ソレダケノ功勞ヲ認メナケレバナラヌ、ソレガ一ツノ立前ニナツテ居リマヌ、隨テ少將ト比較スレバ大將ノ方ガ年數ガ長イト云フ譯デアリマシテ、此勤続シタ年數ニ依ルト云フノハ、私ハ其點ニ付テハ宜シイモノデアルト考ヘテ居リマヌ、ソレカラ尙ホ退職手当ニ付テ非常ニ多額デアルト云フ御話モアリマシタ、是ハ勿論一時賜金デアリマシテ、一時的ノモノデアアルノデアリマヌ、尙ホ既ニ根本君モ御認ニナツテ居リマヌ通り、政府ガ進ンデ軍備縮小ヲ企テ行政ノ整理ヲ實行シタ、官吏傭人職工ノ其意ニ反シテ一時ニ多數ノ人ノ職ヲ解イタ、非常ニ是ハ將來ニ其人々ニ對シテ考ヘレバ、政府ノ處置ガ強制的デアアル強制的ニ一時ニ多數ノ事實上失業者ヲ出シタ、之ニ對シテ相當ノ處置ヲ執ッテ居ルコトハ言フマデモナイノデアリマヌ、殊ニ當時ハ失業者ニ對シテ、退職者ノ爲ニ最モ注意ヲ拂ッタ時代デアツテ、失業者ニ對シテハ出來得ルダケノ待遇ヲ善クシヤウト云フコトガ朝野一般ノ考デアリマシテ、或ハ今日カラ見レバ、失業關係ト云フモノガ餘リ大キナ問題ニナツテ居リマセヌノデ、當時ノ給與ノ金額ガ多過ギタト云フコトガアルカモ知レマセヌ、併シ失業者ニ對シテ出來ルダケノ待遇ヲ與ヘナケレバナラヌ、社會ノ上下ヲ通ジテ、失業者ノ救済ニ對シテ最モ注意ヲ拂ッテ居タ其時代ニ於テハ、アノ金額ヲ以テ先ヅ相當デアラウト云フノデ斯ノ如キ規定ヲ定メタ譯デアリマシテ、當時ノ事情ヲ考察サレト、アレダケノ金額ヲ支給スルノハ已ムヲ得ナカッタノデアリマヌ

○高木委員 私人大藏大臣ニ一ツ御尋致シマスガ、一應私ガ御尋ヲ致ス趣意ヲ申上テ置キタイと思ヒマス、直接此問題ハ恩給ニ關係ノ無イヤウデアリマス、ケレドモ、昨年ノ今根本サンノ御尋ニナリマシテ特別ノ賜金ト申シマスル勤績手當退職手當、昨年十一月二日ノ勅令四百七十九號、此金額ノ支出ノ方法カラ先ツ御尋シテ參リタイと思ヒマス、何故御尋致シマスカタ申シマス、一昨日来モ此事ハ委員會ノ問題ニナリテ居リマシタガ、一般ノ受恩給者ノ心理狀態ニ確ニ大波動ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、今後ニ此賜金ハ及ボス傾向ガアルノデアリマス、ソレ故ニ此際財政計畫ノ上カラ御尋シテ見タイと思ヒマス、此勅令ヲ讀ンデ見マスルト、特別ノ賜金手當、金額及其範圍ハ、主官大臣ガ大藏大臣ト協議シテ出スト云フ、此金額ノ出所ハ豫算科目ノ何レカラ御出シニナルノデアリマス、既定豫算科目ノ何レカラハ出マシタモノデアリマス、ソレヲ第一伺テ置キタイ

○市來國務大臣 此支出ハ豫算科目ノ中カラ云ヒマシテ各省ノ取扱ガ必ズシモ一定シテ居ラスト考ヘマス、既ニ一部豫算外支出ヲ致シマスモノガアリマス、ソレカラ大體ノ立方ト致シマシテ、一部ハ現金ヲ以テ支給致シマシテ、一部ハ公債ヲ以テ支給スルト云フ立前ニ致シテ居リマス、デ現金ヲ以テ支出スル分ヲ、今申上テ通リニ豫算外支出ヲ致シタモノガアリマス、尙ホ一部現金ヲ以テ支出スルモノヲ、各省ノ豫算ノ範圍内ニ於テ支出シタモノガアルト考ヘマス

○高木委員 其豫算外支出ト云フハ豫備金支出ニナリマス、全ク責任支出ニ屬スルモノデアリマス

○市來國務大臣 豫備金支出デゴザイマス

○高木委員 一寸此支出方ガ頗ル是ハ從來ノ例ヲ破ツタヤウニ吾々ハ考ヘマス、僅ニ一省々々ニ、或ハ一般官吏ノ方ノ所謂文官ニ屬ス方デアリマスガ、大シタ金額デナイカモシレマセ、從來豫備金支出デサウ云フ意味ニモナッテ居、タモノモアラウトモ思ヒマス、ケレドモ、軍備縮小及其整理ニ基ク方ニナリマスルト多額ノ金額ニナッテ居リマス、ソレ從來ノ例ヲ思ヒマスルト、官吏ノ増俸ナドハ先ツ豫算ヲ先キニシテ、サウシテソレカラ勅令ガ出ル、所ガ昨年十一月二日ノ勅令四百七十九號ハ、是等ノ形式ヲ全ク一變シテ、行政官ガ勅令ヲ據シテソレニ依ッテ賜金ヲ支拂ウテ、押付ケテ持ッテ行クト云フヤウナ風ニ思ヘルノデアリマス、極ク是ハ小サナ各省ノ支拂、各省ノ廳費中ニ無イ爲ニ、豫備金カラ出スト云フ從來ノ例トハ、全ク趣ヲ異ニシテ居ル、恰モ官吏ノ増俸ト一ツト云フヤウナ狀態ニナッテ、澤山ナ金ガ出テ來ルノデアリマス、形式ガ極メテ穩デナイ方法デアラウト

思フ、第一形式カラ伺ッテ見タイ、ソレカラ此機會ニ伺ッテ置キタイノデアリマス、ルガ、例ヘバ軍備縮小ナラ軍備縮小デ三千七百萬圓許リ、假リニ四千萬圓トスレバ、昨年ノ豫算ノ餘ツタ經費ノ中カラ其不用額ヲ直ニ持ッテ行ッテ、ソレヲ御使ニナルト云フ御意志デアリマス、ソレカラ第三ニ此特別ノ手當ノ金額ハ、總テ何程ニナル御見込デアリマス、其邊ハ豫メ此勅令ヲ御發シニナルニ付テ、大藏大臣ハ閣議ノ決定ニ付テ御調査ニナッタモノアルベキ管ト思ヒマス、ソレヲ伺ヒタイ

○市來國務大臣 御答致シマス、豫備金ヲ支出致シタ分ハ軍人ニ對スル給與デアリマシテ、文官ニ對スル分ハ、總テ其省ノ豫算ノ殘額ヲ以テ致シテ居リマス、成程只今ノ御説ノヤウニ、勅令ヲ拵ヘテ豫算ニ關係ナキ支出ヲシタデハナイカ、私ハ御尤ト考ヘマス、唯、十分ニ御了承ヲ願ヒタイト考ヘマス、點ハ、議會ニ豫算ヲ掛ケル迄待チマス、軍備縮小ト云フモノ、實行ガ非常ニ遲延スルノデアリマス、サウスト其間ニ俸給ノ上ニ於テモ、其他ノ經費ノ上ニ於テモ、國庫ノ都合カラ申シマス、矢張多額ノ金ヲ使ハネバナラヌコトガ、今日生ジテ參リマス、成ベク政府ト致シマシテハ、國費ヲ節約スルコトガ適當デアルト考ヘマシタシ、又軍備縮小ヲ計畫致シマシタナラバ、之ヲ直ニ實行致シマセヌデハ、官吏關係ノ間ニ一種ノ不安ヲ生ゼシムル、計畫ヲ立テマシタナラバ、成ベク速ニ實行スル、政府ノ事業ノ上ニ於テ全部實行出來ナイ都合ガアルト致シマス、其一部分ナリトモ成ベク速ニ實行スル、サウ云フ方針ヲ執リマシタ爲ニ、已ムヲ得ズ第二豫備金支出ノ方法ヲ致シマシタ、尙ホ文官ノ方面ニ於キマシテハ、幸ニ豫算ノ殘額ガ幾ラカアリマスモノデアリマス、ソレヲ流用致シマシテ、出來得ルダケ成ベク速ニ實行ニ著手スルヤウナコトニ致シタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、成ベク速ニ實行スルコトヲ必要ナリト考ヘテ、其結果左様ニ相成ッテ居リマス、尙ホ軍事費ノ關係デハ豫算内ニ給與ニ充ツベキ適當ナ豫算課目ガ無カッタノデアリマス、軍縮ノ爲ニ不用ノモノハ全部殘シマシテ、一方ニ於テ第二豫備金ヲ使ヒマシテ、之ヲ支出致シマシタ、サウ云フ關係ニ相成ッテ居リマス、ソレカラ尙ホ大體ノ増額ハ見込ヲ立テタモノガアリマス、マダ是ハ確定シタ計數デハナイノデアリマス、茲ニ見込ヲ申上ゲマスガ必ズ此數ハ確定シテ居ルト云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、大體ノ數ハ現金ガ約二千萬圓、公債ガ約四千萬圓、之ガ極ク大體ノ見込デアリマス

○高木委員 極ク大體ノ事デアリマス、サウシマスルト陸海軍ノ分ニ付キマシテハ、全ク豫算ノ不足ヲ補フト云フ意味トハ全ク違ッテ居ル、新ニ起ッタル事業ニ付テノ支出デアリマシテ、是ハ責任支出ニ屬スル方デアルト私ハ思ヒマス、サウデアリマス、一寸念ノ爲ニソレ等ノ事ヲ聽イテ置キタイ、併ナガラ普通豫備金ノ支拂ニ屬スル事項トハ違ッテ居リマス

○市來國務大臣 先程申上ゲマシタヤウニ、第二豫備金ヲ支出致シマシタ、第二設備金ノ支出ガ責任支出デアルト云フコトデアレバ左様カモ存ジマセヌガ、國庫剩餘金デハアリマセヌヤウニ思ヒマス、第二豫備金ヲ支出シマシタ分ハ、海軍ノ職工ダケノヤウデアリマス

○高木委員 士官ノ方ハドウナッテ居リマス

○市來國務大臣 將校ニ對スル分ハ、マダ支給ヲ致シテ居ラスト云フコトデアリマス

○高木委員 若シ支給スルトスレバドウナリマス

○市來國務大臣 追加豫算ヲ要求スルコトニナリマセウト思ヒマス

○津野田委員 只今轉職賜金勤績手當ノコトニ付キマシテハ大藏大臣カラ伺ヒマシタガ、是ハ理窟上カラハ宜シイヤウデアリマス、其理窟ハ表面ヲ走ッテ居ルヤウデアリマス、理窟ノ真底ハ觸レテ居リマセヌヤウデアリマス、此事ガ如何ナル結果ヲ來タスカト云フコトヲ、深く御考慮ニナッテ居ラヌヤウニ私ハ確信致シマス、何トナレバ最モ分リ易ク申上ゲマス、此行政整理ハ別トシテ、軍備縮小ノ事ニ付テ、ドウモ只今大藏大臣ニ申上ゲマシテモ詰リマセヌカラ省キマスガ、失職賜金ト勤績手當ヲ總括的ニ渡シマスコトハ、今後如何ナル事ニナリマス、サウ申シマス、實際ニ於テ、日露戰爭ニ於テ既ニ元帥ニナッテ居タ所ノ、モウ亡クナラレマシタ所ノ山縣元帥、大山元帥ノ如キ方ノ遺族ハ、今日扶助料ヲ九百七十圓シカ貰ッテ居ナイノデアリマス、然ルニ只今大將ニナッテ居ル方ハ、日露戰爭當時ハ高々大佐デアリマス、今ノ陸軍大臣ハ少佐デアッタ、總理大臣ハ大佐デアッタソレ等ノ人ガ只今ノ割合ヲ以テ此兩方ノ轉職賜金勤績手當ヲ合スレバ、九百圓ニナリマス、此金額ノ利子ヲ五分ト致シマス、九百圓ニナリマス、サウシテ一方ニハ當時元帥デアッタ所ノ遺族ガ九百七十圓シカ受ケテ居ナイノニ、其當時大佐、中佐、少佐デアッタ人ガ、其利子ダケデモ九百七十圓ト云フ多額ノモノヲ受ケルヤウニナリマス、斯ノ如キ不公平ガ何所ニアリマス、ソレカラモウ一ツ今度罷メサセラルル所ノ軍人デアアル、文武官共ニ、殊ニ武官ニ非常ナ精神ニ動搖ヲ來タシテ居リマス、今日罷メルト多額ノ金ガ貰ヘルト云フノデサボッテ居リマス、實ニ怪カラヌ事デアリマス、所ガ之ガ地方ニ影響シテ居ル、地方ノ官吏ハ此中央ノ狀況ヲ見マシテ、中央ニ於テ斯ウスルノデアアルカラ、地方ニ於テモ之ヲヤラナケレバイカスト云フノデ、非常ニ意氣込シ

デ居リマス、此事ヲ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、斯ウ云フ事ニ對シテ如何ナル方法ヲ講ゼラントスルノデアリマスカ

○市來國務大臣 時勢ノ變遷ニ從ヒマシテ、人ニ對スル待遇モ漸次高マツテ行クコトハ、洵ニ止ムヲ得ヌ事デアルト考ヘマス、只今御引ニナリマシタ例デアリマスガ、成程左様ナ不權衡ノアルコトハ私ハ全然否認シマセス、併ナガラ大體ノ觀察カラ考ヘマシテ、常ニ舊イ時ニ出來マシタ關係ノモノヲ基礎トシテ行クコト云フコトデアレバ時勢ノ進歩シテ行キマス場合、又思想ノ變化シテ行ク場合ソレニ應ズルコトハ困難デハナイカト思ヒマス、先程申上ゲマシタヤウニ、失職者ニ對シテ、一般社會ノ注意ト云フモノガ非常ニ濃厚デアツタ時代モアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ於テハ、自然失職者ニ對シテ、待遇ハ出來ルダケ善クシヤウト云フコトガ、是ハ朝野共ニ非常ニ痛心スル點デアリマス、サウ云フ時代ニ出來マシタモノカラ考ヘテ見マスレバ、ヤリ過ギテ居ルヤウナコトモ有ルデアリマセウト思ヒマスガ、要スルニ時代ノ變遷ト云フモノニ依リマシテ、物價ノ關係ヤ經濟關係モ變テ參リマス、思想モ變テ參リマス、諸種ノ點ニ於テ、善惡ハ別ト致シマシテ、兎ニ角諸種ノ變遷ノアルコトヲ認メザルヲ得ナイト思ヒマス、繰返シテ申上ゲマスガ、例ニ御引ニナリマシタ場合、即チソレハ不權衡デゴザイマセウガ、大體ノ觀念カラ考ヘマスレバ、世上ノ推移スルニ從テ、舊イモノト新シイモノトノ間ニ不權衡ヲ生ジテ來ルコトハ、是ハ亦已ムヲ得ザル現象デアルト云フコトモ、一ツノ道理ノアル點デアルト考ヘマス、ソレカラ此退職賜金手當ノ關係ニ於テ惡影響ヲ生ジテ居ル、或ハサウ云フ事モゴザイマセウ、サウ云フ事柄ニハ一短アリ一長アリ、一害アリ一利アリト云フコトモゴザイマセウ、サウ云フ事モ或ル方面ニハ起ツテ居ラヌトハ申シマセス、アルデゴザイマセウ、併ナガラ是ハ先程申上ゲマシタ通りニ、政府ガ進シテ軍縮ヲ實行スル、整理ヲ斷行シテ多數ノ失職者ヲ一時ニ出ス、殊ニ社會ガ失職者ニ對シテハ非常ニ注意ヲ拂ツテ居ル、之ニ對シテ相當ノ待遇ヲスルノハ洵ニ已ムヲ得ナイ、相當ノ待遇ヲシテ、始メテ軍縮行政整理ト云フコトモ相當ニ圓滿ニ施行サレルト云フ點カラ考ヘマスレバ、或方面ニ於テ多少ノ弊害ガアツタト致シマシテモ、又宜シクナイ影響ガアルト致シマシテモ、大體已ムヲ得ナイ必要ノ事デ、而シテ是ハ一時のモノデ、斯ウ云フ遺方ガ永久ニ行ハル、モノデモナイノデアリマス、サウ云フ關係デ軍縮ヲ主トシ、行政整理ヲ主トシ、一時多數ノ人ヲ強制的ニ失職サセタト云フ點ニ對シテ考ヘマスナラバ、相當ノ救済ヲスルコトハ已ムヲ得ナイト斯様ニ考ヘマス

○津野田委員 私人御問ヲ致シマシタ事ニ觸レテ居リマセスガ、具體的ニ私ハ伺ヒタイ、今ノ元帥大將ト一國家ニ功勞ノアツタ所ノ元帥大將ノ遺族ト、是カラ罷メタル所ノ元帥大將ノ遺族トノ間ニ待遇ノ差ガアル、其差ヲ如何ニシテ填補サレルカト云フコトヲ……

○市來國務大臣 御答致シマスガ、今日ノ恩給制度ニ於テハサウ云フ不權衡ガ生ジテ居リマセス、是ハ先程申シマシタ通り、政府トシテ恩給法ヲ改正致シマシテ、恩給ノ増額ヲ圖ル意思ガアル、之ガ度ノ程度マデ參ルカ決マツテ居リマセスデ、御満足ニナル程度ニ今ノ不權衡ヲ矯正スルコトガ出來ルカドウカ後ノ問題デアリマス、併シ相當ニ恩給ノ増額ヲ圖リマスレバ、相當ナ緩ハ出來ラレルダラウト考ヘマスカ

○津野田委員 ソレハ是カラ後デナクシテ、今オヤリニナツテハ如何デアリマスカ、然ラバ最モ公平デアリマス、殊ニ失職賜金ナルモノニ付テ一言申上ゲマスガ、大將中將ハドウセ轉職スルト云フナラバ、國家ニ酬ニ功勞カラ言ヘバ、亡ク軍縮手當ヲヤルナラバ、國家ニ酬ニ功勞カラ言ヘバ、亡クナツタ大山元帥、山縣元帥ノ方ガ遙ニ上デアリマス、此明治ノ元帥ト言ハレテ居ル其家族ニ薄クシテ、今成金のデアル、成上ツタ者ニ厚クスルト云フコトハ、ドウシテモ理窟ニ合ハナイ

○市來國務大臣 私人只今例ニ御探リニナリマスル山縣元帥、大山元帥ト、國家ノ軍縮ニ依ツテ失職シタ人々トニ、國家ガ之ニ對スル待遇ヲ單ニ政府ノ支給スル給與金之ノミニ依ツテ比較ヲ爲サイマスコトガ穩當デナカラウ、國家ハ元帥大將ニ對シテハ尙ホ其他ノ優遇モシテ居ルコト、考ヘマス、單ニ此金額ノミデ權衡ヲ取リマスルコトモ、尙ホ考フベキ點ガアルヤウニ思ヒマス、金額ノ上デハサウ云フ缺點モアルノデアリマセウガ、尙ホ手ヲ觸レヌ材料ニ依ツテ比較ヲスル方ガ、モツト適當ナ結果ヲ得ラレサウニ考ヘマス、尙ホ今ソレヲ對照シタナラバドウカト云フ——是ハ先程申上ゲマシタルヤウニ、政府ハ成ルベク大正十三年度ニ於キマシテ財政ノ都合ヲ見計ヒマシテ、恩給ノ増加ヲ圖ル、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、今日直ニ今實行スルト云フコトハ、政府ノ財政計畫ノ上カラ甚ダ出來難イ事デアリマシテ、私ハ大正十二年ニ之ガ實行サレ難イコトヲ甚ダ遺憾ニ存シマス、成ベク大正十三年度カラ實行致シマス、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

○津野田委員 是カラ申上ゲル事ハ議論ニナリマス、カラ、止メマシテ、是ハ實際ニ少シ觸レタイト思ヒマスガ、此退職賜金並ニ軍縮手當等、是ハ絕對ニ惡ルイトハ申シマセス、申シマセスガ、總花的ニヤルト云フコトハ大ニ當ラ得ナイト

私ハ確信ヲ致シマス、丁度私ハ大正八年ニ獨逸ヘ參リマシタガ、恰モ軍備縮小行政整理ノ最中デアリマス、其時ニ如何ナル階級ノ人ガ最モ新社會ニ立ッテ苦シムカト云フコトヲ調べマシタ所ガ、主トシテ軍人デアリマスガ、陸海ヲ通ジテ中佐ガ第一デ、其次ハ大佐、少佐、ソレカラ飛ビマシテ少將、大尉、其外ノ者ハ上ノ方ハ大將中將デアアルカラ困リマセス、ソレデ今回事ニ付キマシテモ私調ベマシタ所ガ、我ガ日本ニ於キマシテモ一番轉職ニ困ルノハ中佐デアアル、恩給額ハ少ナイ家族ハ多イ、而モ年ハ若いカラシテ、何トカシナケレバデットシテハ居ラレナイ、デットシテ居テハ食ヘナイ、ダカラ最モ轉職難ハ中佐デアアル、然ラバ中佐ハ之ヲ標準ニ置キマシテ之ヲ最モ多クシ、次ニ大佐少佐、最後ニ少將大尉、斯ウ云フコトニナリマシテ、大將中將ニヤル必要ハ無イ、中尉少尉ハ絕對ニ無イ、自己ノ不品行ガ破廉耻罪ノ外現職ヲ退クコトハアリマセス、斯ウ云フ事デヤルナラバ分リマスケレドモ、總花的ニ大將ガ一万八千圓、中將ガ一万五千圓ト云フヤウナコトハ不公平ト思ヒマス

○三浦委員 私人今津野田君カラ段々御質問ニナリマシタノデ、政府ノ御意嚮ノ在所モ大概諒解致シマシタガ、尙ホ私ノ意見トシテ少シク敷衍シテ置キタイト思ヒマス、此一時賜金ハ決シテ惡ルイコトハアルマイト思フノデアリマスガ、併ナガラ今回斯様ナ事ノアリマス爲ニ、文官ノ方ハ存ジマセスガ、軍人精神ニ於テ非常ナル頹廢ヲ來シツ、アルト云フコトヲ私ハ非常ニ憂フル者デアリマス、ト云フノハ青年ノ將校アタリハ、ドウセ此軍縮ニ依ツテ退官サレルモノデアラナラバ、此際一時賜金ヲ頂戴シテ志願ヲシテ退キタイ、サウシテ未ダ春秋ニモ當ンデ居ルノデアルカラ、更ニ或ル學校ニデモ入ッテ、廣イ社會ニ多ク手節ノ利ク學問ヲスルト云フヤウナ希望ヲ持ツテ居ル者ガ多數デアリマス、軍人ハ私ノ考ヘマスノニ、手節ノ利カヌ方ガ宜シイト思ヒマス、戰場ニ出テ生命ヲ捨テル、又國家ノ爲ニハ生命ヲ抛ツテ働クベキ職分デアリマス、之ガ如何ナル方面ニ於テモ利用サレルト云フ人物デアハ、サウ云フ事ハ出來ナイト思ヒマス、今日軍縮ノ結果斯様ナ事ニナルト云フコトハ、非常ニ軍人精神ノ上ニ於テ缺陷ヲ生ズル、又舊時恩給者ト今回此恩給ニ浴スル人々ノ間ニ、非常ナ軋轢ヲ生ジハシマカト云フコトモ憂フルノデアリマス、既ニ受恩給者ナル者ハ孰レモ國家ニ功勞アル者デ、日露戰役ナドニ是多イノデアリマス、新ニ罷メタル人モ無論サウ云フ功勞者モアリマセウガ、孰レカト云ヘバ舊イ人ノ方ガ國家ニ貢獻シテ居ル、之ガ更ニ先日政府カラ御答辯ニナリマシタヤウニ、大尉デ五千圓、中將級デ一万圓トカ、一万五千圓トカ云フヤウナ多額ノ賜金ガアリマスレバ、之ニ五分ナリ六分ナリノ利子ガ附クモノトスル

ナラバ、ソレダケ恩給ガ殖エル、同ジク軍人ニシテ斯ノ如キ
甲乙ヲ生ズルト云フコトハ、先年來舊恩給、新恩給ト云フ區
別ノアツタ際ニ非常ニヤカマシイ議論ガアツタノデ、又再ビ
斯様ナ事ヲ繰返スコトニ相成リマス。ト云フコトヲ憂フル
ノデアリマス、又此度ノ軍縮ト云フモノガ出來永劫——今
後軍縮ヲ致サズデ今回限りデアル、先般陸軍省カラ發表シ
タ以上ノモノハ、モウ軍縮ヲシナイト云フコトガ、帝國ノ軍
備トシテ動カサナイモノナラバ率知ラズ、吾々ノ考フル所
ニ依レバ、今回ノ軍縮ト云フモノハ極メテ不徹底ナモノデ
アル、謂ハ、五萬五千ノ人員ヲ減シタ、之レニ代ヘルニ機械
ヲ以テ殖シタト云フガ、更ニ軍縮ノ意味ヲ爲シテ居ラスノ
デアリマス、是ハ矢張天引ニ師團ヲ幾分力減ジテ具體的ニ
軍縮ヲシナイ以上ハ、軍縮ノ意味ヲ爲シテ居ラス、然ラバ又
明年ナリ明後年ナリ、此軍縮ト云フ問題ガ出ルニ相違ナイ、
其時ニ至ッテ徹底シタル軍縮ヲ爲サルト云フヤウナ場合ニ
ハ、更ニ今日ヨリ、ヨリ以上ノ人員ヲ減少シナケレバナラス
コトニ立至ルカモ知レナイ、其時ニ至ッタルバ政府ハドウ
爲サルカ、先程大藏大臣ノ御答辯ニ依リマス。ト云フハ多
數ノ人ヲ一時ニ減首スルノデアルカラ、今回限りデアル
云フ仰セモアツタノデアリマス、併ナガラ軍縮ハ今回限りデ
アリマスレバデスガ、此不徹底ナル此不軍縮ハ、決シテ國民ハ
此儘ニシテ許スマイト思ヒマス、モウ少シ徹底シタ所ノ軍縮
ヲシナケレバナラス、而シテ又内容ヲ充實セシケレバナ
ス、軍縮ナルモノハ、決シテ軍ヲ弱クスル云フ意味デハナ
イノデアル、經濟的ニ縮小ヲシテ、サウシテ内容ハ充實シ
ケレバナラス、軍人精神ハ一層緊張シナケレバナラス、然
バ一面ニ於テ待遇ヲ好クシナケレバナラス、減首サレタ場
合ニハ甘ジテ野ニ下ッテ、サウシテ恩給デ甘ジテ生活ヲスル
ト云フ程度ニ行カナケレバ、軍人精神ト云フモノハ野ニ在
テモ朝ニ在ッテモ是ハ緊張シテ行クコトガ出來マイト私ハ
考ヘルノデアリマス、然ラバ今回一時賜金ナルモノハ害ハ
有ッデモ、決シテ軍ノ上ニ於テ益ハ無イト信スルモノデアリ
マス。カラ、是ハドウカ御止メニナッテ、サウシテ一般ノ恩給
ノ方ノ資金ニ充テラレト云フコトヲ私ハ切ニ希望致シマ
ス、又吾々ガ此在郷者ノ内情ヲ深く研究致シテ見スルト云
フト、一人トシテ之ニ賛成スル者ガ無イ、又今カラ罷メルト
云フ人モ、猶ニ申上ゲマシタ通り此際一時賜金ガアルカラ大
ニ結構デアル、更ニ又吾々ハ學校ニ入ッテ勉強モシヤウ、又
何等カノ事業ヲモシヤウ云フヤウナコトヲ望ンデ、志願
ヲシテ罷メルト云フヤウナ人ガ今日既ニアルノデアリマス
カラ、斯ノ如キハ實ニ軍ノ力ヲ弱クスルモノデアルト思フ、
軍人ハ他ニ流用ガ出來ナクモ決シテ差支ナイノデアリマ
ス、質ニ處スルノ途ヲ知り、又イザト云フ場合ニ於テハ國家

ノ爲ニ斃レル、國ノ爲ニ盡スト云フノガ即チ軍人精神デナ
クテハナラス、ソレガ今日一旦在郷者トナッテ洵ニ生活ガ困
難デアル、其精神スラモ既ニ減耗シツ、アルト云フコトハ、
既ニ脊ニ腹ハ代ヘラレスト云フヤウナ有様ニナリツ、アル
ノデアリマス。カラ、斯ノ如キ狀態アルナラバ、日本帝國ハ
私ハ滅亡スルデアラウト思フ、今日一等國ノ班ニ列シタノ
ハ誰ガシタノデアアルカ、陛下ノ御稟威ニ依ルコトハ勿論ノ
事デアリマス、又日清戰爭ニ於テモ、日露戰爭ニ於テモ
モ、非常ナル天佑ガアツタノデアリマス。ルガ、併シ國ノ大事
ト云フ場合ニ、必シモ天佑ガアルトハ限ッテ居ラスノデアリ
マス、今ノ如キ軍人精神デアアルナラバ、今後復タ如何ナル大
事ガ起ラヌトモ限リマセヌガ、サウ云フ場合ニ於テ果シテ
天佑ガ得ラレルカドウカ、洵ニ將來憂フベキ事デアルト思
ヒマス。ルカラ、何卒此精神ヲ維持スル上ニ於テハ、矢張在郷
軍人ノ生活ノ安定ヲ計リ、又一朝在郷軍人トナッタナラバ、
皆均一ニ此恩典ニ浴シテ、平時ニ於テモ其心掛ヲシナクテ
ハナラス、ソレガ出來ルヤウニシテヤルト云フノガ、爲政者
ノ爲スベキ事デハナイカト思ヒマス、其點ニ於テ大藏大臣
ハ如何ニ御考ニナッテ居リマス。カ、簡單デ宜シウゴザイマス
カラ御答ヲ願ヒマス。

○市來國務大臣 私ノ考ハ先程津野田君ノ御問ニ對シテ申
上ゲマシタ通りデス。カラ、更ニ繰返シテ申上ゲマセヌ、唯
次ノ軍縮ニドウスルカト云フ問題デアリマス。ガ、是ハ極メ
テ假定的ノ問題デ、私今如何ヤウトモ御答ヲスルコトヲ困
難ト考ヘマス。ルガ、假ニサウ云フ場合ガアリテ致シマシタ
ナラバ、其時ニ適當ニ調査研究ヲ致シマシテ、相當ノ方法
立ツデアラウト考ヘテ居リマス、今如何ニト云フ事ヲ考ヘ
テ居リマセヌ、尙ホ今申上ゲマシタ通りニ、是ハ單ニ一時的
ノモノデアリマシテ、其爲ニ三浦君ノ御話ノヤウナ弊害ヲ、
他ノ方面ニ於テ生ジタコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス、今之ヲ
此給與ヲ止メルト云フ譯ニモ參リマセヌト思ヒマス、サ
ウ云フ弊害ハ他ノ種々ノ方法ニ依リマシテ、軍人ニ關スル
教育其他ノ方法ニ依リマシテ、軍人精神ヲ引立テルト云フ
コトヲ考究スルコトガ、無論申スマデモナク必要ナ事デア
ルト考ヘテ居リマス、三浦君ノ御意見ハ十分ニ拜聴致シマ
シテ、尙ホ將來斯ウ云フ關係ニ付テ、慎重ニ考ヘルコトニシ
タイト思フノデアリマス。

○高橋委員長 如何デセウ手前ハ此位ニシテ、午後一時カ
ラ繼續致シマシテハ……

○高木委員 是非總理大臣ノ出席ヲ……

○高橋委員長 總理大臣ノ出席ヲ求メマス。ルシ、尙ホ恩給
法案ノ遂ニ就テ質問ガアリマシタナラバ質問ヲ試ミマシ
テ、本日ヲ以テ質問ハ終結シタイト思ヒマス。カラ、成ベク皆

サンノ御勉強ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○高橋委員長 是デ休憩致シマス
午前十一時四十一分休憩

午後一時二十八分開議

○高橋委員長 之ヨリ開會致シマス——午前ニ引繼イデ……

○三善委員 本員ハ午前ノ質問ヲ繼續致シマス、本員ノ質
問ハ屯田兵恩給與ノ件デアリマス、先刻恩給局長ヨリ、當
恩給ヲ給スベキモノデアルト認メル、唯、其資格者ノ調
査ガ、陸軍當局ニ於テ今最中デアルト云フコトデアルト丁
承致シマシタ、本員共ノ調ベマス所ニ依リマス。ル屯田兵
最初ノ制定即チ創定ハ明治七年十月デアリマス、其際屯田兵
ノ兵役ノ年限ハ二十箇年ヲ約束シテ居ルノデアリマス、當
時政府ノ意思ハ、我が北門ノ番兵ヲ兼テシテ北海道開
拓ノ先驅ニ任ズル、是ガ目的デアツタ、サウシマス。ル七年カ
ラ二十箇年ト言マス。レバ、明治二十六年デ兵役滿了ニナル
デアリマス、然ルニ明治二十年ノ頃カラ東洋ノ風雲ガ險惡
ニナリマシタノデアリマス。カラ、更ニ明治二十三年ニ至ッテ
屯田兵條例ニ嚴格ナル規定ヲ加ヘテ、殆ド内地現役兵同様
ノ訓練ヲ爲シ、嚴格ナル軍紀風紀ノ下ニ養成シタノガ屯田
兵デアツタノデアリマス、是ガ明治二十七八年ノ戰役ニ使用
サレ、而モ内地ノ師團兵ヨリモ或ル場合ニ於テハ非常ニ強
カッタ、ソレハ常ニ此寒氣缺乏ニ堪エ、心膽ヲ常ニ鍊ッテ居ル
結果デアツタラウト思フ……

〔今總理大臣ガ見エテ居リマス。カラアナタノ質問ハ
後ニ留保シテ如何デス〕ト呼フ者アリ

○三善委員 ソレデハ後ニシヤウ

○高木委員 私ハ大體ニ付テ極メテ簡易ニ申上ゲテ、簡單
ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス。ガ總理大臣ニ對シテ質問者ガ
澤山アルヤウニ承ッテ居リマス、私ノ承リタイノハ、内閣ガ
昨年十一月ノ二日ニ發令セラレマシタ勅令第四百七十九號
ナルモノガ、此恩給ト密接ノ關係ヲ有シテ居ル、其結果ガ一
般在官者ノ精神上ニモ、又普テ退官シタ人ノ受恩給者ノ上
ニモ非常ニ影響ノアル問題ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ
就テ一ツ總理ノ御意見ヲ承ッテ置キタイノデアリマス、恩給
ヲ增加シナケレバナラスト云フコトハ、殆ド今日ハ議論ノ
餘地ガ無イ、而モ大正九年ニハ、總理ハ閣僚 一人デアツタ
當時ニ政府ヲ代表シテ、政府ハ根本ノ改正ヲ期スルノデア
ルト云フコトヲ聲明セラレタ、然ルニ今日マデ一向此事ガ
運ビマセヌデ、僅ニ恩給法ナルモノ、法案デケハ、稍々具體
的ニ統一シタモノガ現レマシタケレドモ、軍人ニ對シテ

出来マセウト思ヒマス、詰リ算盤ヲ探ッテ見レバ分ル話デ、然
ラバ一方ニ於テ一般ノ恩給ヲ増額シ得ザルガ爲ニ、此際退
職セシムル文武官ニ對シテ、其權衡上一時賜金ヲヤラナイ
デ済ムカ——恩給ヲ増加スルハ早キヲ望ムコトハ勿論デ
アリマス、ソレモ、今同ハ出来ナカッタノデアリマス、ソレ
デ今後機會ヲ得次第ヲラウト思フテ居ル、而シテ今回退職ス
ベキ者ニ此際給與致シマセズデ、後年ニナッテ此恩給増加
實行スル場合ニ、權衡ヲ取ッテ給與スルト云フコトハ理論
シテハ出来ルカモ知レヌケレドモ、事實トシテハ困難ナ話
デアル、ソレデ軍縮ノ爲ニ、又行政整理ノ爲ニ此際退職ス
ル者ニ對シテ、茲ニ算盤ヲ彈キマシテ嚴格ナル計算ヲ致シ
ナラバ、一時金ノ給與ト云フコトハ一種ノ恩給増加ヲ意味
シテ、現在ノ受恩給者ニ對シテ不公平ダト云フ議論ガ生ズ
ルカモ知レナイト云フコトハ、吾々モ計算上承認シテ居ル
ノデアリマス、併ナガラ一方ハ此際ト云フコトノ必要ノ爲
メニ一時忍ビ、恩給ノ増加ヲ圖ルコトニ今後ニ於テ努力
シタイ、此際ヲ凌グコトハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ見地カラ
一時金ノ制ト云フモノヲ設ケ、其豫算ヲ追々要求致スコト
ニナルト考ヘルノデアリマス、ソレデ此一時金ト云フコト
ガ、受恩給者ノ精神ニ非常ナル影響ヲ及ボシタト云フ話デ
アリマスガ、其話モ昨年来聞及ンデ居リマス、併ナガラ此
情ヲ述ベ、此理由ヲ述ベマシタナラバ、理解シ得ラレルデ
ラウト私ハ思フテ居ル、而モ受恩給者ノ恩給増額ヲ致スコ
ト決シテ等閑ニ付スルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ譯デ
アリマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ勅令發布云々ノ問題デ
アリマスガ、是ハ實ハモウ昨年カラ軍縮ニ依ッテ、一時金給與
ノコトヲシタナラバ、云フ場合ニ立至ッテ居ラタ故
ニ、勅令ヲ發布シタノデアリマス、現ニ海軍デハ職工ノ退職
ノ如キハ第二豫備金カラ既ニ支出シッテ、即チ責任支出
スルト云フコトモアルノデアリマス、ソレデ豫算ノ成立以
前デハアリマシタケレドモ、此規定ヲ發表シタト云フ譯デ
アリマス、ソレカラ臨時議會ノ御話デアリマスガ、是ハ昨年
ノ夏デアリマシタカ、高木君ガ三四ノ有志ト御出デニナッ
當時モ御話シテ置キマシタ通り、條約ノ成立シナイ以
前ニ臨時議會ヲ開イテ、此軍縮ニ依ル豫算ヲ議會ニ要求ス
ルコトハドウシテモ出来ナイ、故ニ臨時議會ヲ開クト云フ
コトハ、若シ時期ガ許セバ其運ビニナルカモ知レマセヌケ
レドモ、今日ノ所デハ何トモ御話スルコトガ出来ナイト云
フコトヲ申上ゲタ、今日モ實ハマダ條約ガ成立シナイノデ
アル、ソレデ昨年臨時議會ヲ開キマシテ、今回提案致シマ
シタヤウナ形ニ於テ臨時議會ヲ御協賛ヲ經マシタナラバ、或
ハソレハ一法デアツタカモ知レマセヌ、併ナガラ當時ハ今日
程條約ガ遅レヤウトハ私ハ豫想シナカッタ、昨年ノ夏頃ノ狀況

ニ依リマスルト云フト、昨年中ニハ條約ガ成立スルデア
ラウト云フコトハ期待致シテ居ラタノデアリマスガ、此期待ハ
外レデ、今日マダ成立シナイト云フ實狀デアリマス、故ニ當
時臨時議會ヲ開イタ宜カッタ、サウシナカッタノガイカス
ト言ハレルノハ、或ハ其方ガ宜カッタカモ知レマセヌ、併シ
當時ハ左様ニハ考ヘテ居ラナカッタ、斯ウ云フ御答ヲスルヨ
リ外ハナイノデアリマス、尙ホ御質問ニ應ジテ御答致シマ
ス

○高橋委員長 高木君、他ニモアリマスカラ成ベク簡單ニ

○高木委員 今度デ止メマス、答ガ不十分デアッタ他ノ方

カラ追窮ヲ願ヒマス、只今總理ハ恩給ニ付テ續々從來ノ行
掛ノ事ヲ御話ニナッタ、其通りデアリマス、ソレダケノ御記憶
ガアリマスナラバ、何故此臨時手當六千万圓程ノ金額ヲ支
出セネバナラヌト云フ其結果ノ起ル當時ニ於テ、既ニ六千
万ノ要求ヲ責任支出ニ於テモ何ニ於テモ爲サルナラバ、是
ト同時ニ恩給ニ付テモ三千万圓ヲ要求シナケレバナラヌト
云フコトハ、片方ハ一時デアリマスシテモ、其次ノ年度ニモ及
ブノデアアル、財政上逆モサウ云フ事ハ不可能デアラト云フ
御考ガ起キマシタナラバ、此間ニ於テ多少御考慮ニナッテ
斯ク甚シク、恩給者ノ精神ヲ刺戟スルヤウナコトノナイヤ
ウナ御處分ガアリサウカモノデアリマシタガ、全ク過去ニ
於ケル政府ノ爲サレタ方ト云フモノハ如何ニモ一面ニハ財
政ニ波動ヲ起シ、他面ニハ退官者及在官者ニ大ニ神經ヲ
刺戟サセテ、其結果財政上面白クナイ現象ガ現レルコトノ
御豫想ノナカッタト云フコトハ極メテ遺憾デアリマスガ、此
問題ヲ幾ラ追窮シテモ駄目デアリマスカラ此問題ハ止メマ
ス、次ニ伺ヒタイノハ今總理ノ御言葉ニモアリマシタガ、若
シ政府ガドウシテモ之ヲヤラネバナラヌノデアアルガ、
金ハ六千万圓ト云フ多額デアアル、假令金額ハ少クトモ、斯
ウ云フ場合ニ於テ起ルベキ事柄デアリマスレバ、退官賜金、轉
職賜金ヲヤル人ニ暫ク待命給ヲオヤリニナッテ、サウシテ臨
時議會ガ開ケナイナラバ、議會ガ開ケタ今日ニ於テ豫算ヲ
御請求ニナッテ、御處分ニナッテモ一向遅クハナイト思フ、現
ニ將校以下ニハ今日マダ御渡シニナッテ居ラス、斯ル期間待
命ノ儘デ置カレモノナラバ、何モ急イデ勅令ヲ御出シニナ
ル必要ガナイト思ヒマス、其點ハ如何デアリマス、又恩給増
加ト云フコトハ歴史的ニ御承知ニナッテ居ル總理デアリマ
ス、今日此六千万圓ヲ出セバ、何時出来ルト云フ御考デアリ
マスガ、御觸リ得ナイコトニシテ其儘御置キニナル狀態ニナ
ッテ居リマスガ、連モ此問題ハ此儘濟マヌト云フ狀況ニナッ
テ居リマス、ドウゾ今申上ゲタ點ニ付テ、吾々ノ諒解スル御答
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤國務大臣 御答シマスガ、勅令ヲ出シマシタノハ、前
申ス通り此勅令ニ依ッテ給與ヲ受クベキ者ハ、高等官カラ職
工ニ至ルマデノ者ガ入ッテ居ル、ソコデ待命ニシテ置ケバ宜
イデヤナイイカト言ハレマスガ、現ニ待命ニ致シテ居ル者ガ
居ル、此勅令ヲ出シマス前後ニ於キマシテハ、今日ノ如ク長
クナラウトハ豫期シナカッタノデアリマス、長ク待命ニシテ
置ケバソレダケ金ガ餘計掛ルノデス、昨年ノ十二月ニ實ハ
實行致シタイト云フ軍事當局ハ希望ヲ以テ、一方ニ於テハ
此勅令ヲ急イデ、又他ノ方面ニ於テハ、職工ノ如キハ待命ノ
金ヲヤッテ遊バシテ置クト云フ譯ニハ行カナイ、ソレナラト
云ッテモウ既ニ繼ノ製造ヲモ中止シ、軍縮ニ依ッテ實行スベ
キ事ヲ、條約ハマダ成立シマセヌケレドモ、或ル程度迄ハ實
行シテ居ル、職工ハ餘ッテ居ル、之ニ給料ヲ與ヘテ遊バシ
置クト云フ譯ニハ實際ニ於テ行カナイ、シテ見マスレバ
是等ノ一時金ヲ遣ラネバナラヌト云フ實際ニ迫ラレタ、是
ガ勅令ヲ早く出シタ理由デアリマス、或ハオ前ノ見込ガ惡
カッタカラダト言ハレ、バ一言モ無イノデスケレドモ、併シ
是ハ昨年ノ十二月頃迄ニハ少クトモ條約ハ成立シテ、全部
實行サレルト云フ覺悟ヲ以テ實ハ急イデヤッタ譯デアリマ
ス、ソレカラ後ハ何時出スカト云フ御話デアリマスガ、是ハ
ドウモ財政計畫ト伴フ話デアリマスカラ、茲ニ何年何月カ
ラ出スカト云フコトハ御答出来マセヌ、ケレドモ私ハ出来
ルダケ早くヤリタイト思フテ居リマス、今モ既ニ今年ノ事ニ
付テ考慮シテ致シテ居ル、爲シ得ルナラバ本年度ハ最早
政府トシテハ茲ニ提出スベキ案ヲ持ッテ居リマセヌカラ、十
三年度カラ幾ラデモ著手スルコトガ出来マス、案ガ出来マ
スナラバソレカラデモ著手シタイト思フテ居リマス、是ハ
決シテ政府當局ハ等閑ニハ考ヘテ居ラス、諸君ト同様ナル
苦痛ト同情トヲ持ッテ居ルノデアリマス、唯、今年實行ノ
出来ナカッタコトヲ遺憾トスルト御答スル外ハナイノデ
アリマス

○仙波委員 總理大臣ニ一寸伺ッテ置クノデスガ、私ハ一通
リ御明答デ分リマシタガ、是マデノ受恩給者ハ御承知ノ通
リ、苦痛ヲ忍ビ増額ノ時機到ルヲ待ッテ居リマシタ、所ガ
今年ハ軍縮モ實行サレタ、必ズ恩給ノ増額ノ御沙汰ノアル
ベキモノト誰モ彼モ考ヘテ居ラタ、然ルニ所期ニ反シタコト
ニナッテ、其反對ニ去年來軍縮及行政整理ノ結果デ退職致シ
マシタ者ハ前代未聞ノ御下賜金デ、是ハ私共ハ驚入ル程
ノ多額デアリマス、所デ其受恩給ノ數十万人カラ之ヲ見マ
シテ、政府ハ吾々ニ對シテ公平デアアルカドウカト云フコト
ニナリマス、一方ハ得意ノ絶頂ニ在ル、他ノ大勢ノ者ハ全
ク奈落ノ底ニ呻吟シテ居ルト云フ、是カラ考ヘテ見テ彼等
ノ不平憤懣、私ハ今日デハ其極ニ達シテ居ルト申上ゲテモ

宜シイ、第一ニ御考ニナラナクテハナラヌノハ、數千萬人ノ受恩給者ト申スノハ、日清、日露ノ兩戰役ニ何レモ相當ナ勳功ヲ擧ゲタ者デアル、所デ新タニ退職シタ者ト彼等トノ間ニハ非常ナ懸隔ガ出来テ來テ、今日デハ融和スベカラザル一大溝渠ヲ御拵ニナツタ、ドウデセウ是カラ先キニ何所マデモ軍人精神ヲ出シテ、協力一致國家ノ爲ニ努力セヨト仰シヤツタ所デ、是ハ全ク不可能ナ事ニ立至リ、全ク此共和一致ト云フ點ニ付テハアナタ方方爆彈ヲ御投ゲニナツタ、私ハ寔ニ國家ノ爲メ痛嘆ニ堪ヘス、是カラ先ニ國防ハ一番大事ナ點デアル、陸海軍共ニ國防ノ勢威ヲ墜スト云フヤウナコトハアリタクナイ、併ナガラ内部デ士氣ガ相一和シナイ、殊ニ從來ノ數十萬人ノ受恩給者ガ寧ロ自暴自棄ト云フコトニ立至リタラバ、私ハ恐ルベキ出來事ガアリハシマイカト考ヘル、此所ヲ餘程御考慮ニ預リタイ、隨テ私ハ茲ニ最後ノ御問ニ止メテ置キタイノハ、斯ク一方ニ過度ナル御下賜ガアリ、他ノ一方ハモウ因窮ノ極ニ達シテ居ルト云フコトニ付テハ所謂長ヲ切り短ヲ補フト云フヤウナ双方下チラモ寄合ハセテ、何所マデ共和一致ノ精神ニ重キヲ置イテノ御處分ニハナリ兼ネルモノデアラウカ、此點デアリマス

○加藤國務大臣 仙波君ノ御話能ク分リマシタ、寧ロ御話ヲ聽ケバ斷斷ノ思ガアル、併ナガラ今回 政府トシテ執リマシタ態度ハ前中上タル通りデ、其可否ニ付テハ御批評ニ委ス外ハアリマセヌガ、最後ノ御質問、何カ茲ニ歩ミ寄ツテ、一口ニ申セバ公平ト御考ニナルヤウナ處置ニ付テハイモ考ヘ無イカト云フヤウナ意味合デアリマス、此意見ハ實ハ初メ聽クノデ、今茲ニ私ガ斯ウ云フ事ヲスレバドウダ、ア、云フ事ヲスレバドウダト云フ腹案ハマダ無イ、諸君ノ中ニ御考ニナツテ、斯ウスレバ宜イデヤナイカ、斯ウスレバドウダト云フ御考ガレバ、私ハ好意ヲ以テ考ヘタイト思フ、併ナガラ今ハ私トシテハ實ハ名案ハ無イノデアリマス、ドウカ此點ハ所謂協力シテ良キ案ガアツテ皆ガ満足スル——満足シナイマデモ、諸君ガ不公平ト云フ御意見ノ無イヤウナ案ガ出來マスレバ、十分ニ考究ヲ致シテ見タイト思フ、今私トシテハ何モ無イノデアリマスカラ、其點ヲ御了解ヲ願フテ置キタイノデアリマス

○野村委員 私ハ極ク簡單ナ問題デアリマシテ、國政ヲ變理サレル總理大臣トシテハ、恩給法ノ大體ノ觀念ヲ御持チニナツテ居リマセウガ、細目マデノ御觀察ハ或ハドウカト思フ併シ聰明ナル總理大臣ダカラアルカ知リマセヌガ、要スルニ恩給法ノ大體ノ精神ハ、恩給ノ増額ヲスルト云フコト、今一ツハ恩給ヲ受クル人ノ種類ニ依リテ違フ、此二ツニ歸著スルモノナリト斯ウ私ハ信ズル、ソコデ此政府提出ノ恩給法ヲ見マス、増額ニ付テハ今仙波君ヤ高木君モ仰シヤル通

リ色々議論ガアリマスガ、是ハ私ハ除キマス、唯、種類ニ依ツテ違フコト云フ點ニ付テ、總理大臣ノ意見ヲ一ツ承リタイト思フノハ、文官ハ十五年以上ニシテ恩給ヲ貰フ、ソレカラ警察官、監獄署員ハ十年、軍人ハ十一年、是ハ私ハ精神ト體力ト其働等ヲ計ツテアルノデアルカラ、過去ノ經驗ニ徴シテ此點ガ適當ダラウト思フ、此點ニ對シテ長イ短イト云フヤウナ議論モアリマスガ、是ハ日本人ノ體質等モ考ヘナケレバナラスカラ深ク論ズル必要ハナイ、唯、此中ニ文官ハ十五年以上デアルガ、國務大臣ニ付テハ五年以上ナラ宜シト規定シテアル、是ハ恐ラク總理大臣モ海軍ノ事ハ詳シイカ知ラスガ、コンナ詳シイ事ハ御承知ガナイイカ知リマセヌ、或ハ御承知カ知リマセヌガ、大臣ダケガ五年デ、大臣以下ノ次官、樞密顧問官、關東長官、其他ノ親任官ガ澤山アルガ、是等ノ者ニ付テハ十五年デアル、五年サヘ大臣ヲ勤メレバ恩給ヲ與ヘル、成程大臣ハ非常ニ國務ニ盡瘁シテ勞ガ多イカラカ知レヌガ、中ニハ伴食大臣モアルガ、ソレハ何所カラ割出シタノデアアルカ、大臣ノ年限ハサウ長イモノデハナイ、太ク短イモノデアアル、ドツチカト云ヘバ大臣ハ五年トハ出テ居ル者ハ少ナイ、加藤君ハ別問題デアアルガ、少ナイモノダカラ此規定ガ出來テ居ルト云フ議論ガアルカ知レマセヌガ、兎モ角モ大臣ナルガ故ニ五年ト云フコトハ私ハ附ミ落チナイ、要スルニ此恩給制度ノ法理上ノ理窟ハ幾モアリマスガ、簡單ニ俗語デ申シマセバ、勳盛リノ中ニ國家ノ爲ニ貢獻シテソレデ愈ニ生氣ノ拔ケタ時分ニ社會ニ投リ出サレテ生活ニ憫ム、其人ノ保障ガ必要デアル、俗語デ申セバ是ガ一番手取り早イ話デアルト思フ、又是ガ眞理デアルト思フ、所ガ大臣ナシカニナルハ、兎モ角モ相當ナ地位ト所謂生活ノ保障モ十分デアラウシ、先ヅ有ニル條件ガ備ハラナケレバ大臣ト云フ地位ニ留マルコトハ出來ヌ、社會ノ信用モアリ、色々ノ關係ガナケレバ中、今日ノ狀態デハナラヌ、罷メタカラ大臣ガ明日カラ乞食ニナツタト云フコトモ聞カス、矢張大臣ノ地位ニナツタ者ハ、其地位ヲ去ツテモ大臣相當ノ地位信用ト云フモノハ持續サレモノデアアルト私ハ思フ、サウシマス云フト、大臣ダケニ對シテ五年デ、アトノ致々波々トシテ餘リ信用ノ厚クナイ、交際ノ廣クナイ判任官、或ハ下級ノ高等官ガ十五年間ウント働イテ始メテ恩給ニ接スル、是ハドウデアラウカ、寧ロ大臣ニナル人ハ二十年ニスルナリ、私ニ言ハシタナラバ、大臣ニナル人ハ、恩給ナシト云フコトニシタラ宜カラウト思フ、加藤首相モ御承知ノ通り、九段ノ招魂社ニ一年ニ一度ノ御祭デ崇奉ラレテ神トシテ尊敬サレル夫ガアル、其妻ガ九段ノ下ニ車ヲ曳イテ居ル人ガアル、是ハ實際デアアル、兄ガ九段ノ招魂社ニ神トシテ尊マレ、弟ハ強力宿ニ於テ是亦他人

ノ爲ニ働イテ居ル人ガ實際ニアル、若シモ生活ノ保障ヲ得サセル爲メナラバ是等ノ人ニヤツテ、大臣ナンカハ全然恩給ヲ受ケヌトシタ方ガ、却テ國ノ政治ヲ行フニ最モ必要ナ事デアリハセヌカト思フ、又吾々實際今日見マシタ所デ、今迄大臣ハ澤山居リマセウ、ソレデ大臣ヲ罷メテカラ破産宣告ヲ受ケタ人モ聞カス、又大臣ニナル者ハサウ餘リ不信用ノ人モ居ラス、大臣ニナル人ハ相當ノ信用モアリ、如何ニ貧乏ノ大臣デモ別荘ノ一ツヤ二ツハ持ツテ居ル、斯ウ云フ立場ニ在ルニ拘ラズ、他ノ官吏ハ致々波々トシテ十五年、大臣ダケハ五年デ恩給ニ接スル、今日殊ニ民衆化ノ此ヤカマシイ時代ニ於テ(簡單ト呼ブ者アリ)簡單デハナイ、事實ヲ擧ゲテ質問スルノデアアル、此點ニ對シテ重ニ此條文ノ解釋デハナイ、或ハ條文ノ解釋ニナルガ、是ハ根本政策ダカラ此點ニ對シテ總理大臣ニ質問シテ居ル、此點ニ對シテ如何ニ御考デアアルカ、之ヲ御聽シテ置キマス

○加藤國務大臣 野村君ノ御意見ハ御議論トシテハ洵ニ立派ナ御議論ダと思フ、實ハ恩給法改正ノ内容ノ詳細ハ記憶致シマセヌケレドモ、今聽キマシタガ大臣ハ五年ト云フコトニナツテ居ルサウデアリマス、是ハ議論トシテハ野村君ノサウ云フ議論モ立タウト思フ、武士ハ食ハズニ高楊枝主義デ行キマスレバ、勿論大臣ニナルヤウナ人ハ恩給ヲ辭シテモ宜シイ、或ハ其大臣ニナル前ニ多少ノ貯蓄モアル、是ハ御議論トシテハ御尤デアアルガ、實際大臣トナル人ハ必シモ裕福デアルトハ極ラヌヤウニ思ヘル、又大臣ニナレバ非常ナ貧シイ生活モシ惡クハナイカ、是ハ議論デハナク實際デアアル、ソコデ外國ノ例ナドモ恩給局デハ調ベマシテ、五年ト云フコトニ定メタサウナノデス、確カ英吉利ハ二年ニナツテ居ルト云フコトヲ今一寸聽キマシタガ、是ハ議論バカリデハイカスノデ、御議論ハ御議論トシテ伺ツテ置キマス、私トシテハ先ヅ大臣ダケガ五年デヤ不權衡ダカラ、モット範圍ヲ廣クスルカ、或ハ五年デハ短カラウト、八年ニスルガ宜シイ、十年ニスルガ宜シイト云フ修正的ノ御意見デアレバ、ソレニ依ツテ考ヘテモ宜カラウト思フ、兎ニ角立案ノ趣旨ハ今ノヤウナ趣旨デ出來テ居ル、其趣旨ノ理由ニ至リマシテハ一寸私モ説明ニ窮シマスカラ、是ハ政府委員カラ細カク御話シスルトニシテ御許シテ願ヒタイ

○津野田委員 私總理大臣ニ質問致シタウゴザイマスガ、先刻仙波君カラ御質問ガアツテ、何トカ歩ミ合ノ方法ハナカラウカト云フコトハ私モ此說ヲ切ニ主張スル一人デアリマス、此轉職賜金、勤続手當等ヲ之ヲ深ク研究シテ見マスノニ、非常ナル不公平ヲ生ジ、又社會ニ非常ナル害毒ヲ流スト斷言致シマス、是ハ先刻大藏大臣ニモ述べマシタガ、近イ例デ最モ不公平ト申シマスルト、例ヘバ日清日露ノ時ハ既ニ

元帥大將ノ榮位ヲ辱ウ致シマシタ、故山縣大山兩元帥、又海軍大將伊東元帥ノ如キ、此方ノ遺族ハ僅ニ九百七十圓ノ年額ノ扶助料ヲ受ケテ居リマス、然ルニ今罷メル方ハ失禮ダケレドモ、今ノ總理大臣ハ當時大佐デオキデナリ、陸軍大臣ハ中佐デアリマシタ、是等ノ方ガ御罷メニナッテ、此規定ノ如キ賜金ヲ賜ハルトスルバ、要スルニ今日ノ大將ノ位置ヲ滿チ得テ居ル人ガ、此計算ニ依リマスレバ、兩方合シテ二萬一千圓ニナリマス、二萬一千圓ノ一時賜金デアノ、二萬一千圓ノ利子ガ五分トシテ、此年額千五百一十一圓ニナリマス、是ハ永久ニ受クルノデアアル、一種ノ一時賜金ノ恩給ニナッテ參リマス、其遺族ガ九百七十圓ニ加フルニ、此一時賜金ニ依ッテ千五百圓、即チ倍額以上ノモノヲ受ケルコトニナル、國家ニ功勞ノ比較的多イ遺族ガ少クシテ、其當時ニ於テハ左程デナカッタ人ガ倍額以上ヲ受クルト云フコトハ、如何ニモ社會ニ害毒ヲ貽ス不公平ノ標本ヲ示ス譯デアリマス、是ガ一ツデアリマス、モウ一ツハ中央ニ於テ、此事ガ決マリマスコトハ、地方ノ官吏ハ刮目シテ此成行ヲ見テ居リマス、中央ニ於テ斯ウ云フコトガ決マレバ、地方ニ於テ恐ラク文武官共ニ精神狀態ニ非常ナ惡影響ヲ來シテカラニ、文武官共ニ此際退職ヲスルコトガ宜シイ、退職賜金、勤続手当ガ貰ヘルカラ、長ク官公吏ヲヤルヨリ、此際退イタ方ガ宜シイト云ウテ罷メル者ガ大分アラウト思フ、或者ハ肺病デ死ニ掛ッテ居ル、是等ニモヤル、抑、何ノ事カ分ラヌ、要スルニ轉職賜金ト云フモノハ、或ル程度ノ階級年配ニハ必要デアルト云フコトヲ認メマスガ、此勤続賜金ナルモノハ、一種ノ一時ノ恩給デアリマシテ、年限制度ノ恩給ヲ根本カラ覆シ、義ニ述ベタヤウナ不公平ヲ來スノデアリマスノデ、此點ニ御注意ニナリマシテ、願クハ既往ノ人ニモ現在ノ人ニモ將來ニモ惡影響ヲ及ボサヌヤウナ、所謂歩合ノ方法ニ付テ、公平ヲ保ツヤウナコトヲ切ニ私ハ希望スル次第デアリマス、之ニ對シテ何カ御考ガ無イデセウカ、聰明ナル總理ハ御考ガ有ルカモ知レナイノデアリマス、カラ伺ヒマス

○加藤國務大臣 先刻仙波君ノ御話、今津野田君ノ御話、サウ云フ議論ハ初メチ私ノ耳ニ入ッテ、隨テ今日斯ウ云フ風ニスレバ歩合ガ出來ルト云フ案ハ、現在持ッテ居ナイ、ソレハ露骨ニ持ッテ居ナイコトヲ御話シタ、ソレガ爲ニ各方面ニ及ボス影響アルト云フ御話モアリマシタケレドモ、或ハ御意見ノ通りニナルカモ知レマセヌガ、併ナガラ政府ガ考ヘマシタノハ、前申上ゲマシタ通り今後一時ノモノデナク、恩給ノ増額ト云フコトハ之ヲ以テ打切ルノデハナク、是非トモ實行シタイ、斯様ナ考ヲ持ッテ居リマスカラシテ、其恩給増額ヲ實行シタ曉ニ於テハ、敢テ茲ニ不公平ナ事ハアルマイ、斯ウ云フ風ニ大體ニ於テ考ヘテ居ル

○高橋委員長 大抵モウ宜イデヤアリマセヌカ、モウ總理ノ意思ハ凡ソ分ッテ居ルデヤアリマセヌカ

○加藤國務大臣 大體皆サンノ腹ノ中ハ私ニ分ッテ居ル積リデス、議論スレバ際限ガナイガ、ドウカシタイト云フコトハ山々考ヘテ居ル、津野田君ニ一步モ譲ラヌ積リデアアル

○野村委員 サウスレバ十五年間ト云フ普通ノ文官ト同ジ事位ニハ、總理大臣ハ御同意アル譯デスナ

○加藤國務大臣 サウ云フ考ヘハ持ッテ居リマセヌ、現行法モ確カサウナッテ居ヤセヌカト思フ

○野村委員 現行法ハドウデモ宜シイガ、御同意ニハナラヌノデスガ

○加藤國務大臣 私ハサウ思ッテ居ナイ、現在ニ於テハ現ニ提案シタモノヲ維持シテ行キタイ

○野村委員 先程七、八年ト仰シヤッタデヤアリマセヌカ、ソレニ就テ考ヘヤウト言ウタノデ……

○野村委員 私人ノ方デ修正ヲ出シタラ御同意ニナリマスカ

○加藤國務大臣 同意スルヤ否ヤハ見タ上デ……

○高橋委員長 ソコデ總理ニ對スル質問ハ宜シウゴザイマスカ、又貴族院ノ方ガ御濟ミニナッテ、コチラデ必要ガアレバ要求シマスカラ、其時ハ……

○加藤國務大臣 何時デモ出テ參リマス

○三善委員 先刻ノ續テ私ハ申上ゲナケレバナラヌ理由ガアル、恩給局長ノ先刻ノ御話ニ依リマス、大體昨年カラサウ云フコトヲ屢々聽クノデスガ、屯田兵ハ土地ヲ給サレテ耕スト云フコトハ大體ノ目的デアリ、寧ロ兵役ノ方ハ之ニ伴ウテ居ルノデアリマスカラ、一般ノ兵役者トハ勿論違ヒマスガ、併ナガラ其事實ニ於テ最初屯田兵ヲ置キマシタ明治八年ノ考ガ途中カラ變ッテ來テ居ル、明治二十九年以來東洋ノ形勢ガ變ッテ來テ、之ガ爲ニ屯田兵ノ任務ガ非常ニ重クナッテ來タ、而シテ其任務ハ二十七八年ノ戰役ニ於テ、屯田兵ガ國家ニ盡シタコトハ先刻申シタ通りデアリマス、然ルニ屯田兵ニ與ヘタル所ノモノハ何デアアルカ、僅ニ土地五町步デアアル、而モ屯田兵ニ與ヘタル所ノ土地アルモノハ、土地ノ良シ惡シヲ考ヘテ與ヘタルノデハナク、國防上必要ナル地點ニ屯田兵ヲ配置シタルノデアアル、故ニ極メテ土地ノ不良ナル所ニ耕シテ、非常ナル困難ト闘ツタモノデアアル、然ルニ屯田兵ガ先驅シテ開拓ヲ爲シ、及交通機關等モ屯田兵ガ大ニ働ッテ居ル、其後ニ移住スル所ノ國民ハ五町步、更ニ五町步、更ニ五町步、而モ土地ノ良イ所ヲ選ンデ之ヲ交付サレタ、斯ウ云フ實況ニナッテ居ル、故ニ屯田兵ニ土地ヲヤッタ云フコトハ問題デナイ、然ラバ何ヲヤッタ、僅ニ最初ノ三箇年ノ間一人平均ニ五合ノ玄米ヲヤッタ、榮代トシテ一日ニ一

錢五厘ヲヤッタ、而モ三箇年ノ間デアアル、跡七箇年モ現役同様ノ兵役ニ勤メテ居ルノニ、何等國家ガ與ヘテナイ、斯様ナ扱ガシテアル、當時今日ノヤウナ國民思想デハアリマセヌカラ、唯々命難レ從ッテ國家ノ爲ニ彼等ハ盡シタ、斯様ナ國家ニ功勞ノ有ル者ニ對シテ此恩給ガ漏レタルコトハ、實ニ國家ノ一大缺點デアリマス、然ルニ恩給當局ニ於テハ當然ヤルベキモノナリト云フコトヲ認メラレデ、而シテ其調査ガ幾分當局ニ於テ尙且ツ未了デアアル、然ルニ先刻此席デアリマセヌガ當局者ニ伺フ所デアハ、大分進ンデ居ルト云フコトデアリマス、願クハ恩給改正ノ此際ニ於テ、屯田兵ニ對シテ恩給ヲ賜與スルコトヲ云フコトヲ確定シタイト思フ、陸軍當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

○高橋委員長 陸軍次官ニ御注意致シマスガ、陸軍デハ出來ルコトナラ聲明サレテハ如何デスカ、出來ナイ事ナラ已ムヲ得ナイガ……

○白川政府委員 今陸軍デ調査ヲシテ居リマスノハ、大分材料モ集リマシタシ、殆ド成案ヲ得タノデス、今四五日ノ中ニハ恩給局長ノ御廻シヲスル手筈ニナッテ居リマス

○三善委員 諒解致シマシタ、ソレデハ兎ニ角他ノ者ト同様ニ、屯田兵ニ對シテモ此際決定ヲ致シマス

○松實委員 只今陸軍次官ノ御答辯ニ依リマシテ、本員ノ間ハントスル所ハ凡ソ總デガ消エテシマッタヤウナ事デアリマスガ、唯、私ハ四五日中ニ提案ナサツテ、恩給局長ノ方ヘ御廻シタルト云フマデ御進ミニナッテ居ルトスレバ、此際同ツ位置キタイト思フマデ、此屯田兵ノ兵役期間デアリマスガ、最初ニハ御承知ノ通り現役トモ豫備トモ後備トモ付カナイデ、屯田兵役ハ二十箇年ト云フコトニ定メラレテ居ッテ其後改正ヲ致シマシテ、現役ハ三年乃至五年八年、斯ウ云フ風ニ屯田兵ノ兵役期間ト云フモノハ變ッテ來タノデアリマス、漏レ聞ク所ニ依リマス、是迄陸軍當局ノ方ニ於テハ、日清戰爭ノ以前所謂東洋ノ風雲急ナル時分ニ當ッテ、現役三年ヲ改正シテ七年八年、斯ウ致シタ者ニ對シテハ恩給ヲ與ヘル考デアリマス、其以前即チ土地デ申シマスレバ、札幌附近ニ移住シタル所ノ零似、山鼻、江別ト云フヤウナ地方ハ明治八年ニ移住シタル者ニ對シテハ、ドウモ先程モ恩給局長ノ御話ニ、兵農ヲ兼ネテヤッタノデアアルカラ、主トシテ兵役ノ方ハヤラナゲルノデアアルカラ、此點ハドウデアアラウト云フヤウナ疑問ガ尙ホ存シテ居ルヤウナ御言葉モアリマシタガ、從來ノ私共ノ非公式ニ承ル所ニ依ルト、今日迄陸軍當局ガ屯田兵ノ現役期間ト云フモノヲ、恩給年限ニ通算スルニ難色ガアツタト云フコトハ、ソコニ在ッタンデハナイカト考ヘルノデアリマスルガ、其點ハドウデアリマスカ伺ッテ見タイト思ヒマス、先般私ノ質問ニ對シテドウデアリマシタカ、北

海道ニ人ヲ派シテ實地調査ヲシテ居ルト云フコトデアリマシタガ、私ガ其後聞ク所ニ依リマス、實地調査ハシテ居ラヌ一實地調査ヲシテ居ラヌデハナイ、人ヲヤツテハ居ラナシト云フコトデアリマシタガ、ソレハ私ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、人ヲヤツテハ居ラヌケレドモ、本年ノ一月邊リニ陸軍當局カラ七師團ノ方ヘ御照會ニナツタ中ニ、只今私ガ申上ガタヤウナ事ニ付テ御照會ニナツタ、即チ現役ニ改正ニナツタ明治二十三年以降ノ分ニ對シテハ、當局者トシテ恩給年限ニ通算スルコト云フ意圖ガアルガ、ソレ以前ノマダ現役、豫備、後備トモ附カナイ二十箇年ノ兵役者ニ對シテハ、ドウデアラウト云フヤウナ疑ヲ存シタヤウナ照會デアッタガ、七師團ノ方ハソレニ對シテ矢張其二十箇年ノ者共モ、恩給ニ浴セシメル必要ガアルト云フヤウナ回答ヲシタガ、併シ陸軍ニ於テハ其回答ニ對シテハ、甚ダ何ト申シマスカ面白カラヌ所ノ考ヲ持ッテ、ドウモ二十箇年ノ兵役ニ對シテハ恩給ヲ現役ト云フモノハ分ラヌノデアアルカラ、二十箇年ト云フモノ二十箇年ハ現役デヤナイカラ、何程現役トシテソレニ恩給ヲ與ヘルヤト云フコトニ付テ、尙ホ疑ヲ存シテ居ルレ云フコトデアリマシタガ、其點ニ付テ御伺スル事ガ出來レバ非常ニ參考ニナルシ、必要ナ事ト考ヘル、尙ホソレカラ二十箇年ノ兵役ニ服シタ者ハ、西南戰爭ナドニ從軍シテ居ルニサウシテ段々聞ク所ニ依ルト云フ、現役ヲ廢シテ豫備役ニシタケレドモ、尙ホ現役ト同様ニ心得ヘルベシト云フコトデ、命令ヲ以テ現役同様ニナル、サウシテ軍隊手帳ナドモ現ニアリマシタ、日々ノ勤務ナドモ總テ同様ニシテソレヲ吾々モ見テ居ルノデアリマスルガ、ソレ等ニ依テ見テモ決シテ軍務ヲ閑却シ、軍務ヲ疎カニシタノデアリト云フコトノ證據ヲ舉ゲラル、コト、信ジテ居リマスルガ、當局ニ於テハ其點ハドウ御考ニナリ、ドウ御調査ニナツタノカ、此際伺テ置キタイと思ヒマス

○白川政府委員 此所ニ恩賞課長ガ來テ居ルカラ、此レカラ御答致シマス

○飯塚政府委員 屯田兵ノ恩給ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付テハ、先ヅ屯田兵ノ制度ガ如何ニ在リシカト云フコトヲ調査シナケレバナリマセヌ、ソコデ屯田兵ノ制度ニ付テ段々分ラヌ點ガアリマシテ、サウ云フ所ハ古イ書類ニ就キ、又ハ當時ノ關係者タル第七師團等ニ就テ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ制度ガ如何ニ在リシカト云フコトヲ調べルト同時ニ、勤務ノ狀態、軍務ノ一軍隊兵役ノ服役ガドウ云フ有様デアッタカト云フコトモ、併セテ調査シナケレバナリマセヌ、ソレガ分ッテ、始めテ是ノ恩給ヲ如何ニスベキカト云フ案ガ定マルノデアリマス、ソコデ先達陸軍省ニ於テハ、ソレ等ノ點モ調査致シテ居ッタノデアリマス、大

體ドウ云フモノデアッタカト云フコトガ分リマシタニ付テハ、恩給ヲドウ立テルカ、二十三年以前ノ古イ屯田兵ヲ、如何ニ恩給ニ通算スベキカト云フコトニ付キマシテハ、私トシテハ今考ガアリマスケレドモ、ソレモ是等ヲ決メルコトニ付キマシテハ、尙ホ恩給局其他内閣ノ方ト相談ヲ致シテ決メタイと思ッテ居リマス、是ダケ申シテ置キマス

○三善委員 今當局ハ考ヲ持ッテ居ルガ、マダ茲ニ言明スルコトヲ得ナイ、併ナガラ明治八年ニ始メテ置カレタ屯田兵ガ、先刻申シタヤウニ二十三年カラ勤務ガ激シナリマシタガ、其以前ハ成程多少閑散デアッタカモ知レナイ、併シ確ニソレハ兵卒ニ違ヒナイ、其紀律ニ服シ、軍隊手帳ヲ與ヘ、十年ノ役ニ從軍シテ居ルカラ、是等ノ者ハ人員ガ少ナイ、百人内外デアアル、是等ヲ省クト云フコトニナルト、是ハ又大問題デアアル、ドウカ屯田兵ニ付テハ其邊ヲ十分ニ御調ヲ願ヒタイ

○津野田委員 此問題ニ付テ一寸述べタイ、御承知ノ通り屯田兵ハ明治八年カラ始メテ居リマスルガ、此屯田兵ナルモノハ、内地師團ノ兵以上、其當時ハ鎮臺ト云ッテ居ッタガ、其鎮臺兵以上ニ重ク視テ居ル、私ノ友人ニ貴族院議員ノ永山男爵ガ居リマス、アノ親御サンガ屯田兵司令官ヲシテ居リマシタノデ見モシ聞キモシ知ッテ居リマスガ、恰モ「モンテネグロ」ノヤウナ教練ヲシテ居ッタ、毎日兵隊ニ引出シ、家族迄モヤツテ居ル、實際ニ日清戰爭ニ於テ使ッテ結果ハ、内地ノ兵ヨリモ遙ニ能率ハ上デアリマシタ、私ハ斷言マスル事實ヲ認メテ居リマス、當局ハ恐ラク御承知ナカラウト思フ、斯ノ如ク毎日々々内地ノ兵以上ノ訓練ヲ致シテ、家族迄軍律ノ下ニ起居シテ居ッタモノデアアルカラ、當然恩給ヲヤルベキモノト私ハ確信マスルノデアリマス、此邊ハ當局御承知デアリマセウガ、尙ホドウカ詳細ニ御調ヲ願ヒタイ、殊ニ軍隊手帳モ渡シ、ソレカラ十年ノ戰爭ハ勿論、日清戰爭ニ於キマシテモ拔群ノ功ヲ立テタ、最初ノ間ハ七箇年トカ八箇年トカ現役ト云フコトヲ言ハレテ居リマシタガ、其後十數年滿期近クニナツテ、現役、豫備、後備ノ制度ヲ探ッテハ明治二十四年、明治八年カラ二十四年迄現役デアアル、而モ家族迄軍律ノ下ニ起居シタノデアアル、此邊ヲ御考察アラントラ希望シテ置キマス

○高木委員 委員長

○高橋委員長 之ニ關聯シテ、ナケレバ、石川君カラ通告ガアリマスカラ……

○石川委員 私ハ簡單ニ御尋致シマス、今度ノ一時賜金ニ付キマシテハ、内外共非常ニ評判ガ悪い、外部ト致シマシテハ無論、今度ノ軍縮ノ結果比較的破格ナ昇進ヲシテ居ル、其上是等ノ人ガ罷メルト云フト恩給ガ附ク、ソレダカラシテ

職工ガ罷メサセラルル以上ノ危險トモ不安トモ地方ノ人ハ思ッテ居ナイ、然ルニ當局ハ矢張依然トシテ前恩給者ガ受クル金額ニ等シイヤウナ莫大ナ一時賜金ヲ下サルト云フ、矢張サウ云フヤウナ意圖ヲ今後トモ持タル、ノデアアルカドウデアアルカ、ソコヲ御尋ヲ致シマス、モウ一ツハ陸軍部内デ學校ノ中堅トナツテ居ル佐官階級、此階級ノ中ニ自信ノアル少數ノ人ヲ除イタ外ノ殆ト全部、軍縮ト並ニ一時金ノ制定ノ爲ニ、非常ニ豫備氣分ヲ誘發致シマシテ、寄ルノ觸ルト恩給ノ計算バカリシテ居ルト云フコトヲ現役ノ人カラ聞クノデアリマス、是ハ非常ニ國家ノ爲ニ由々シキ事デアッテ、當局ハ此邊ニ對シテ御調査ニナツテ居ルカドウカ、御調査ニナツテ居ルトスレバ、其模様ヲ承リタイノデアリマス、之ニ付テ左様ナ豫備氣分ヲ起ス原因ガ他ニモアリマセウケレドモ、一ツニハ餘リ一時賜金ガ多イノガ、之ヲ誘發シタル原因ニナツテ居ラウト斯ウ思フノデアリマス、モウ一ツ重複ニナルカモ知レマセヌガ、大事ト思ヒマスルカラ御尋致シマスガ、今度ノ新恩給令ノ可否ヲ判斷致シマスルニ付テ、先ヅ恩給ノ意義ヲ明瞭ニ爲シ、且ツ十分諒解サスト云フコトガ頗ル肝要ト思フノデアリマス、私共考ヘマスルト、恩給法ノ意義ト云フ事ハ、當局ニ於テ確乎タル意義ヲ立テ、居ラル、ヤドウカト云フコトガ疑ハレルノデアアル、若シ御決メニナツテ居ルトスレバ、其意味ガ或ハ間違ッテハ居ナイカ、先達來カラノ説明ヲ承ッテ見マスルト、恩給ト云フノハ一種ノ恩惠的支給法デアアル、受恩給者ハ權利呼ハリナドラスベキモノデアナイ、隨テ一定ノ金額ヲ支給スレバ足ルノデアアルト云フヤウナ御意味ニ思フタノデアアル、若シ果シテサウ云フ風デアルトスルト、恩給法ノ本意ニハ適ッテ居ラヌデアナカラウカ、申スマデモナク我國ノ武士道ト云フモノハ、特別ナル待遇法ニ依ッテ發達致シテ居ルノデアリマス、尙ホ之ヲ保タウト思ッテ居リマスルナラバ、ドウシテモ恩給法ノ意義ニ本意ニ適フモノデアナクテハナラヌ、デ私共ガ思ヒマスルニハ、恩給法トシテハ、ソコデ少クトモ受恩給者ノ家ガ亡ビナイヤウニ、生計ノ安全ヲ保ツト云フコトデナケレバナラヌ、隨テ金錢ヲ支給スルコト云フノハ此原則ガ編出シテ造ル所ノモノデアアル、是デナクテハナラヌト斯ウ思フノデアアル、當局ハ此法案ニ付テ不法ト云フ御考デアアルカ、若シ不法ト云フ御考デアアルナラバ、ドウ云フ譯デアアルカ其理由ヲ承リタイ思ヒマス

○馬場政府委員 事柄ハ私ヨリ御答スル筋合デナイ御質問モアリマスルカラ、其點ハ陸軍當局カラ御答致シマス、今回行政整理ニ當リマシテ、退官退職スル文武官ニ一時賜金ヲ與ヘル、是ハ内外共ニ不評判デアアルガ、將來之ヲ如何ニスルヤト云フ其中ニ別ケテ御答ヲ致シタイノハ、今回給與致シ

マスノ所一時賜金ノ中ニハ、勤績手當ニ屬スベキ手當ト云フノハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、勤績賞與金ノモノデアリマス、ソレト失業手當、若クハ轉業賜金トモ申スベキモノ、此二ツガ包含サレタルコトハ前同ニモ申上ゲタ通りデアリマス、而シテ行政整理ニ際シテハ、此二ツガ與ヘル必要ガアルノデアリマスガ、行政整理ニ依ラザル場合ニ於テハ、無論此二ツガ平均スル理由ハ毛頭無イノデアリマス、其中ノ勤績賜金ヲ給與スベキヤ否ヤト云フコトニ付テハ、未ダ決定ハシテ居ラナイ——シテ居リマセヌガ、斯ウ云フ事ダケハ申上ゲテ置キタイと思フ、少クトモ此文官ニ付キマシテハ、從來自己ノ病氣其他ノ理由ニ依テ退職スル場合ニ於テモ、其勤績年數ニ稍、比例シテ相當ノ賞與金ヲ給シテ居ラナイデアリマス、此事ハ將來ト雖モ給與シテ行クベキデアラウト思ヒマス、其給與ガ從來豫算ノ豐富ナル官廳ト、然ラザル官廳トノ間ニ著シク不權衡デアリマシタ、此賞與金ノ不權衡ト云フコトハ、何トカ矯正シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其矯正スル手段トシテ、今回ノ如キ一定ノ率ニ依ッテ、勤績賜金ノ如キ率ニ依ッテ之ヲ給與スルト云フコトガ至當デハナイカ、斯ウ云フコトニ今考ヘテ居リマスルケレドモ、之ヲ將來トモニ給與スルヤ否ヤト云フコトノ明ナル決定ハ致シテ居リマセヌ、ソレカラ第二ノ點ハ陸軍ノ方カラ御答致シマスガ、最後ノ點デスネ、恩給ノ意義ニ付キマシテハ、是ハ此前私申上ゲタ積リデアリマスガ、色々説モアリマセウ——説モアリマセウガ、詰リ官公吏ガ公務ニ從事シタ其在職期間、若クハ其在職シテ公務ニ因ッテ傷病ヲ受ケタ、是等ノ關係カラシテ心身ノ勞、是ガ必ズ彼レノ經濟上ノ能力ヲ消耗サセルノデアリマス、故ニ此文武官其他ノ公務員ガ、退職後ニ於テ彼レノ失ヘル所ノ經濟上ノ能力ヲ賠償スル、保障スル、斯ウ云フ意味ニ於テ恩給ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ此恩給法制定ノ時ニ於テ考ヘテ置イタ所ノ趣旨デアアルノデアリマス、決シテ之ヲ與ヘルコトハ國家ノ單純ナル恩典デアハナイノデアリマス、故ニ或ハ「恩給」ト云フ文字ガ當ラヌカモ知レナイ、此點ニ於テハサウ云フ説ヲ隨分聞クノデアリマス、「恩給」ト云フ字ガ當ラヌデハナイカ、恩給ト云フコトハ、如何ニモ思ヒテ與ヘラレルト云フヤウナ風ニ聞エルカラ當ラヌト云フ説モアルノデアリマス、併シ是ハ多年使ヒ來タモノデアリマス、カラ、今回モ文字ヲ踏襲シタノデアリマス、其趣意ニ於テ恩給ヲ與ヘルノデアリマスルカラ、單純ナル國家ノ惠與デアハナイ、惠デアハナイ、併ナガラ此恩給ヲ如何ニ與ヘルカ、其今ノ賠償ト云フモノハ何所マデスルカト云フコトハ、其時ノ事情ニ依ッテ異ナラザルヲ得ナイと思フ、客觀的ニドレ丈ト云フコトヲ確定シ得ルモノデアハナイと思ヒマス、物價ノ問題モアリマ

セウ、又官吏公吏ニナル志望ノ多イ少イト云フコトモ考ヘテ見ナケレバナラヌ、成程經濟上ノ能力ニ付テソレヲ失ツタコトヲ賠償スルト云フケレドモ、一定ノ標準ガ客觀的ニ割出サル、モノトハ思ハナイ、唯、疑モナイ點ハ、決シテ國家ノ惠與デアハナイ、惠ミデハナイト云フコトダケハ御説ノ通りデアリマス

○白川政府委員 只今ノ第一ノ御問デアリマスガ、實際此陸軍ノ軍備整理ノ爲ニ將校ガ二千三百モ減ルト云フガ爲ニ不安ノ念ニ驅ラレタノハ事實デアリマス、此事實ニ付キマシテハソレノ機關ヲ以テ絶エズ報告ヲ得テ居リマス、陸軍中央部ノ希望ト致シテハ、成ベク此軍備整理ニ依ル退職者一時ニ實行シテ、サウシテ早く此不安ノ念ヲ去リタイ、斯ウ云フ希望ハ誰シモアルノデアリマスケレドモ、サウ一時ニ大勢ノ者ヲ退職セシムルト云フト、上聯隊長ヨリ下中隊長ニ至ルマデノ大部分デアルカラ、此年限ヲ分ケタノデアリマス、只今ノ豫定デハ會計年度ノ大正十二年度内ニ終リタイト云フコトデアリマスガ、尙ホ出來得ベクンバ、モット早く了リタイト云フ考ヲ吾々ハ持テ居リマス

○石川委員 私ノ申シマスルノハ其意味モアリマスケレドモ、モウ少し徹底シタ御答ヲ得タイと思フノデアリマス、例ヲ申シマスルト、先刻申シマシタヤウニ、非常ニ秀才デ昇進スルト云フ人ハ、サウ云フ懸念モ起リマスマイガ、サウ云フ人デナイ、例ヘバ三十人ノ中デ十人減ラル、ニシテモ、其中ノ殘人迄モ自分ハ此儘居テモ大佐ニナレルカ、少將ニナレルカ分ラナイ、若シシタニシテモ、其時ニ受ケル恩給ヨリモ今罷メテ貰フ恩給ガ多イト云フ勘定バカリラシテ居ルト云フコトヲ聞クノデアリマス、其邊ノ所ハ餘リ一時賜金ガ多過ギルカラサウ云フ風ニナルノデアハナイカ、其點ヲ伺タノデアリマス、モウ一ツハ金ヲ與レサヘスレバ宜シイ、恩給ハ金ヲ與レルモノデアアルト云フ御考ガ根據ニナツテ居リハシナイカト思ヒマスガ、私ハサウデナク趣意ノ立ツヤウニシテ、恩給ヲ貰ハナイデモ食ヘル人ニハ與レナイ、同ジ階級ニ居ル人デモ、家族ガ澤山アル、或ハ藥料ガ澤山要ル、或ハ入院料ガ澤山要ルト云フ人ニハ、特別ニ金ヲ與レルト云フヤウニ致シタイノデアリマスガ、其邊ノ所ヲ御尋シタノデアリマス

○白川政府委員 前段ノ將校ノ中ニ金ノ勘定バカリシテ、寧ロ一時賜金ガ多イカラ引カウカドウシヤウカト云フ者ガ多イト云フ御話デアリマスガ、吾々ノ受ケテ居ルノハ左程ニハ聞イテ居リマセヌ、唯、優秀ナ者ハ無論自信ガアリマスカラ續イテ居リマス、ソレデ一部分ノ者ガ自分カラ進ンデ引カウカ、留テ居タモノダラウカト云フ意思ノ者ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレ等ノ一部ノ者ガア

ナタ方ノ御耳ニ、算盤勘定ヲシテ居ルト斯ウ云フ風ニ聞エタモノト私ハ信ジマス

○馬場政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、恩給ハ一家ヲ支ヘルベキ資料ヲ必ズ給シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニハ私共ハ考ヘテ居リマセヌ、詰リ家族ノ多イ者ハ餘計飲食ヲスルノデアリマスガ、暮ノ立ツ者ニハ恩給ヲヤラヌデモ宜シイト斯ウ云フコトニハ考ヘテハ居ラス、サウスルト俸給デモ同様デアアル、金持ニハヤラヌデモ宜シイ、貧乏人ダケニヤレバ宜シイ、而モ家族ガ多ケレバ位置ガ低クトモ俸給ヲ餘計ヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマスガ、サウハ考ヘテ居リマセヌ、先刻モ申シマシタ通り官吏ハ在職ノ年月ガ長ケレバ、退職後ニ於テ相當收益ヲ得ヤウトシテモ得ラレナイ、九年十五年、二十年ト云フ歲月ヲ公職ニ從事シテ居ル爲メニ、經濟上ノ能力ヲ發揮スルダケノ力ヲ殺ガレテ居ル、ソレヲ國家ガ保障シテヤラナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、其者ガ家族ガ非常ニ多イカラ、ソレニ餘計ノ恩給ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニハ考ヘテ居リマセヌ、恩給ヲ給スルト云フコト、本人ガ食ヘスト云フコト、ハ別デ、此方ハ救貧制度ハノ方デアッテ恩給ノ方デ解決スベキモノデアハナイと思ヒマス

○石川委員 今食ヘル者ニハ恩給ヲヤラヌデモ宜シイト云フノハ、趣旨ノ分ルヤウニ極端ニ言フノデアリマス、尙ホ今救貧制度ト言ハレタノデアリマスガ、之ヲ十分適用スルヤウニナツテ來マシレバ、ドモ詰リハ廢兵ト云フコトニナルノデ、廢兵デナイ人ハソノコマデニ行カズニ生活ノ途ガ立チマスガ、極端ニ切詰メルト矢張廢兵ト云フコトニナルト思ヒマス、私ノ質問ガ餘リ極端ニ申シマシタカラ、誤タカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味デ質問ラシタノデアリマス

○根本委員 私ハ此教員職員ト云フコトノ解釋ニ付テ簡單ニ承リタイト思ヒマス、教員職員ト云フ中ニモ色々アリマスカ……

○高橋委員長 大體ノ質問ガ濟ンダラ逐條ノ質問ヲ始メル積リデアリマスガ、其時デハ如何デスカ

○根本委員 其時デモ宜シウゴザイマスガ、簡單ニ此公立學校職員ノ中ニ……

○高橋委員長 ソレハ逐條ノ方デヤッタラ便宜ノヤウニ思ヒマスガ如何デスカ、此中カラ拾ヒタシテ居ルト何時マデモ區切りガ付キマセヌカラ、第何條ナラ第何條ト云フコトニシタラ都合ガ宜カラウト思ヒマス

○八田委員 此町村役場ノ吏員——公吏員ニ對シテ地方々々ニ依ッテ財源ノ裕カナ村デハ恩給制度ヲ設ケテ居ル所モアリ、又設ケナイ所モ多クアリマスガ、是ハ國ノ上カラ云ヘバ、統一シテ實施セシムル方法ニ導クノガ至當デラウト思

ヒマス、又之ヲ官吏ト通算スル方法モ、町村役場吏員ヲシテ長ク居ラシムル上カラシテモ必要ト思ヒマス、今日仕事ノ出來ル者ハ町村役場ニ居ラヌト云フコトデアリマスカラ、是等ガ安心シテ職務ニ従事スル上ニ於テ、何カ通算法デモ無イモノデアリマスカ、各國ノ事例ヲ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、各國共日本ト同様ニ自治體ニ委任シテ、國家ガ之ニ對シテ導ヲ爲サヌト云フ状態ニナリ居リマスカ、其邊ニ付テ御意見ヲ伺フテ參考ニシタイト思ヒマス

○入江政府委員 町村吏員ハ現行上ニ於キマシテモ、又此改正法案ニ於キマシテモ、恩給ノ在職年等ハ通算シナイコトニナリ居リマス、是ハ色々見方ニ依ッテ議論モアリマセウガ、在來町村ノ自治體ノ吏員ハ其自治ノ範圍ニ委セル、仍テ條例等ニ依ッテ恩給法規ヲ規定シテ、其吏員ニ適用スルコト云フコトニ立前ラシテ居リマス、之ニ對シマシテ國ガ或一定ノ方針ヲ設ケテ之ヲ導クコト云フコトハ、或ル程度ニ於テ宜シイカトモ存ジマスガ、併ナガラ各々自治體ノ自身ノ財政狀況モゴザイマセウカラ、一律ニ之ヲ強制スルコト云フコトハ、自治ノ性質ノ上ニ如何カト思ヒマシテ、今日モ尙ホ其事ニ及ンデ居リマセヌ、外國ノ例モ實ハ町村自治ナドニ如何ナル恩給法ヲ制定シテ居ルヤト云フ、詳シイ調査ハ遺憾ナガラゴザイマセヌガ、國ノ恩給法規ノ中ニ、自治體ノ吏員ヲ或ハ通算スルコトカ云フ規定ガ一ツモ見ラレナイノヲ見マシテモ、自治體ノ吏員ト國ノ官吏トハ別個ノ取扱ニシテ居ルコト、信ゼラレマス、將來自治體ノ吏員ニ付テ、適當ナル恩給法ヲ各自自治體ガ作ルト云フコトハ洵ニ望マシイ事デアリ、且又ソレガ全國一律ニナルト云フコトモ望マシイ事デアリマスガ、ソレ等ノ方法ニ付テ或ハ指導其他ノ必要ハアラウト思ヒマスガ、直ニ今日ニ於テ自治體ノ吏員ヲ官吏同様ニ通算スルコト云フヤウナコトニスルト云フ考ハ、只今持ッテ居リマセヌノデゴザイマス

○石川委員 見習士官並ニ海軍ノ候補生ハ之ニ入ッテ居ルヤウデアリマスガ、士官學校並ニ兵學校ノ生徒デアリマス、ソレカラ豫後備ハ演習召集ヲ受ケタ將校、是ハ責任ノアル職務ニハ就キマセヌケレドモ、矢張演習ヲ致シマストキニハ、責任ノアル職務ヲ致スコトガアリマス、サウ云フヤウナ責任アル職務ヲ行ヒマシタ時分ニハ、恩給ニ觸レルノデアリマスカ

○入江政府委員 茲ニ陸軍見習士官及海軍ノ候補生トゴザイマスガ、見習士官ハ御承知ノ通り本官タル士官ノ見習ヲ爲スモノデアリマシテ、其執ル所ノ職務ハ士官ノ職務ヲ執ルノデアリマス、海軍ノ候補生ニ至リマシテモ、同ジク其執ル所ハ單純ナル教育ト云フ範圍以外ニ於キマシテ、其本官ト稍々同ジ性質ノ職務ヲ執ルノデアリマス、之ニ反シマシ

テ士官學校ノ生徒トカ、兵學校ノ生徒トカ云フモノハ、主タルモノハ教育デアリマス、其者自身ノ教育ガ主體デアリマス、仍テ此所ニハ公務ニ從事シタル所ヲ探ッテ本案ノ中ニ入レ、單純ナル教育ニ從ッテ居ル者ハ本案ヨリ排斥シタ所以デアリマス、且亦演習ノ召集ノ如キハ、御説ノ如ク洵ニ純然タル公務ヲ執ッテ居ル者デアリニ依ッテ、本案ニハ第二十八條ト存ジマスガ、演習ニ召集シタ期間ハ恩給ヲ通算スルコトニ致シマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス

○高橋委員長 質問ハ大體済ンデ居リマスナ——一寸私ガ陸軍當局ニ質問致シタイノデアリマス、先程御話ノ屯田兵デアリマス、四五日ノ中ニ恩給法ニ入レルト云フコトデアリマス、此審查ノ都合ニ依リマシテ、此所ニ屯田兵ヲ入レルト云フナラバモット早くヤッテ貰ヒタイ、單行法デモ出ルナラバ別問題デアリマスガ、成ベクナラバ單行法ニシナイデ、屯田兵ハ此中ノ附則ニ入レルヤウニ出來ルナラバ大變都合ガ宜シイト思ヒマス、就デハ四五日ノ中ニハ時期ヲ失スル憂ガアリマスガ、モウ少シ早く出來マセヌカ

○白川政府委員 ソレハ陸軍デハ或一ツノ成案ハ出來テ居ルノデスガ、マダ上ノ方デ練ッテナイノデス、成案デ早速交渉ヲ開キマセウ

○高橋委員長 ソレナラバ大層都合デアリマスガ、貴族院ノ方デモ法制局長官ノ話ガアッテ、此方ヲ大分豫算關係デ急イデ居ルヤウデアリマス

○白川政府委員 承知シマシタ

○高橋委員長 モウ一ツ是ハ法制局長官ニ伺ヒマスガ、警察官ハ十年、軍人ハ十一年ト云フノデス、所ガ是ハ能ク類似シタル職務デアリマス、危險エ一身ヲ曝スト云フ點ニ於テハ類似シテ居ル、是ハ十年ト一十年デ僅カ一年ノ差デアリマシテ、警察官ガ常ニ身體ヲ危險ノ所ニ曝シテ居ルカラト云フノデアリマスガ、然ラバドレ程差ガアルカ唯、一年シカ無イ、ソレダケノ事デ甚ダ不揃デアル性質ハ略々同一デアルト思ヒマスガ、此統一ニ付テハ法規上十五年ト十一年ト十年ト三ツニ分レテ居リマスカラシテ、此者ハ軍人ト同一ノ十一年ト云フコトニ統一ハムツカシイデスカ、直ニ出來ナイ事ハ當前デアリマスガ、附則ニ今後新任官スル者ハ、十年以上十一年ニスルトカ何ト云フヤウナ考ハアリマスマイカ

○馬場政府委員 其事ハ實ハ私一個トシテハ相當考ヘテ居ル點モアリマスガ、多少主務省アタリノ意見モ確メタノデアリマス、私ハ不可能デアルトハ無論思ハナイ、今日即答スルコトダケハ一寸御待テテ願ヒタイ、尙ホ先般津野田君ヨリ年限問題ニ付テ種々御意見モアリマシタ、篤ト攻究致シマスガ、ソレモ併セテ後御答致シマス

○高橋委員長 就キマシテハ恩給法案ニ付キマシテ、逐條

質問ヲ是ヨリ開キタイト思ヒマスガ、第一章總則十八條ニ至ル迄ノ間、之ニ付テ質問ガアリマシタナラバ其間ノ質問ヲ願ヒマス

○高橋委員長 此十五條ニ「恩給審查會ニ關スル」規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、之ニ付テ法制局長官カ恩給局長カ、ドレダモ宜シイガ御答ヲ願ヒタイ、是ハ恩給者ニ取ルト頗ル大切ナ簡條デアリマシテ、近來總テ民衆化シテ參ッタノデ、此税法ノ方ニ取リマシテモ、調査會ニハ受恩給者ハ矢張加ハルト云フコトニナリテ居ル、恩給調査會ガ自分ノ恩給ヲ審查シテ貰フ所ノ受恩給者ニ付キマシテハ、幾分ノ人ヲ參加サセルト云フコトハ最モ必要ナ事デハナイカト思フノデアリマス、一體ドウ云フ風ニ是ハナリテ居リマスカ、是ガ一問、次デ中上デテ置キマスガ、元來此審查會ノ組織ハ、法律組織トシテ法律ノ中ニ規定スベキ事デハナイカト思ヒマス、單ニ之ヲ命令ニ委ヌルト云フコトハ、從來ノ法文ニハ澤山アリマスクレドモ、近來斯ウ云フ事ハ成ルベク其規定ヲ法律ニ明記シテ、行政官ガ勝手ニ自己ノ都合ノ好イモノヲ以テ組織スルト云フコトニシナイヤウナ、一般ノ傾向ニナリテ居リマス、要スルニ其受恩給者ノ側カラ中シマス、唯、官界ノ人ノミヲ以テスルト云フコトハ、唯、政府ノ意ヲ審查會デ決スルト云フコトニモナルノデアリマスカラ、是ハ受恩給者ノ側カラモ——幾分カ現在恩給受領者トナリテ居ル者カラ選バレルト云フコトハ適當デハナイカト思ヒマス、第一之ヲ法律事項ニシナイト云フ事ト、法律ヲ以テ茲ニ規定ヲ置カナイト云フ事ト、今一ツハ一般ノ參加スルハドウ云フ人デアリマスガ、只今私ノ希望ノ意味モ併セテ政府ハ何ト御考ニナリテ居ルカ、ソレヲ聽キタイト思ヒマス

○入江政府委員 恩給審查會ハ御承知ノ如ク、主タル適用ハ內閣總理大臣ニ對シテ訴願ヲ爲シタ、及公務ニ依ル傷病ノ長イ年所ヲ經タル時、果シテ其公務ニ因ルヤ否ヤ之ヲ確認スルトカ、及恩給局長ニ對シテ其具申ノ時ニ方、是ガ恩給金ガアルヤ否ヤヲ諮詢スルノデアリマス、要スルニ其審查スル事項ハ、主トシテ法律關係ノ事項及專門ノ病氣ニ關スル事項デアリマス、恩給局長ノ考ト致シマシテハ、此審查員ハ一方現行ノ恩給制度ニ詳シイ者、及一方病氣ノ原因結果等ニ詳シイ顧問醫等ヲ置キ、尙ホソレニ對シテ公務傷病其他ノ事柄ニ對シテ廣イ知識ヲ有ッテ居ル者、是等ヲ主ニ致シテ、サウシテ尙ホソレニ附加ヘテ、國家ノ制度ニ知識ノアル者ヲ加ヘタイト云フ考デアリマス、是ハ單純ナル常識問題デ解決スル事ニモ違ヒマスシ、又單純ナル法律ノミヲ解決スル事トモ違ヒマス、仍テソレ等ヲ適當ニ安排シテ此審查ヘヲ作リタイト云フ考ヘデ居リマス、仍テ受恩給者ヲ必ズ入レルト云フ考モ今ハ確定的ニ持ッテ居リマセヌ、其外素人

所謂素人ヲ必ズ其中ニ入レタイト云フ考ヲ持ッテ居リマセヌ、要スルニ是等ノ審査會ノ審査事項ニ對シテ、先ヅ正確ナ知識ヲ供給シ得ルト思ハレル人ヲ選ンデ之ニ充テルツモリデアリマス、其他ノ法律ノ關係ニ付キマシテハ、法制局長官カラ御答ヲ致サル、グラウト思ヒマス

○馬場政府委員 恩給審査會ト云フモノハ、言フマデモナク一ツノ合議的委員會デアリマス、即チ之ヲ定メルニハ官制ヲ定メル、官制ヲ定メルニハ、原則トシテ勅令デアルノガ適當デアラウト思ヒマス、從來斯ノ如キモノハ例ヘバ最近ニ鐵道會議ノ如キ、鐵道會議ニ關スル事ハ勅令ヲ以テ定メ、恐ラクハ此例ニ依ッテ居ルノデ、法制委員會トカ法律ヲ規定シテ居ルモノハ極メテ稀デアリマス、決シテ之ガ爲ニ受恩給者ノ不利益ニナルヤウナ事ハナカラウト思ヒマス

○高木委員 斯ク言ヘバ恩給局長ノ述ベラレタ通りデアリマス、現在ハ之ニ參加セシムルコトヲ、寧ロ公平ヲ維持スルハ、利益ナリト私ハ見テ居リマス、私共ハ第一ニソレヨリハ、法律ノ中ニ審査會ハドウ云フモノヲ以テ組織スルト云フコトニ書イタ方ガ、適當デハナイカト思ヒマス

○高橋委員長 ソレハ意見デアリマスカラ、御意見ハ他日討論ノ節ニ述ベラレシコトヲ願ヒマス

○根本委員 第六條ニ付テ一ツ伺ッテ置キマスガ、此第六條ニ「一年內」トアリマスガ、是ハ七年內ト御改メニナツタ方ガ適當ト思ヒマス、理由ハ第五條ノ七年ヲ經過セザル限り、一年後ニ再就職シタル者ハ從來前在職年ト通算セザル、モノト誤解シ、爲ニ失權シタル例少カラズ、是ハ洵ニ失當デアラウト思フ、是等ノ第五條ニ依ッテ失權セザル限り、再就職ニ依リ時効ヲ中斷シ、前在職年ト通算スルヲ適當ト思ヒマスガ如何デアリマスガ

○入江政府委員 恩給ノ權利ガ長ク確定セズニ居ルト云フコトハ、國ノ制度ト致シマシテ、又受給者ニ取リマシテモ甚ダ不都合ガ多イデアリマスガ、現行法ニ於キマシテハ、此一年後ト云フ猶豫期間ガ無いデアリマシテ、今日退職シテ明後日アタリ就職シテ居ル、尙ホ其七年間ニ請求シナカッタナラバ權利ガ無クナル譯デアリマス、併ナガラソレモ時ニ依リマシテハ、法規ヲ知ラナイ爲ニ氣ノ毒ナ場合ガアルト云フノデ、茲ニ一年ニシテ譯デアリマスガ、之ヲ罷メテ約ソ一年モ經テマスレバ自分ハ恩給ヲ貰ヘルノデアル、貰ヘルナラ手續ヲスルト云フコトハ差詰メ考ヘルコトデアリマス、故ニ約ソ一年ノ猶豫期間ヲ置キマシタナラバ、之ニ洩レルト云フ者ハ殆ドアルマイト思ヒマス、況ヤ再就職ニ依ッテ時効ノ停止期間ヲ認メテ居ルノデアリマスカラ、茲ニ一年ノ猶豫ヲ置キマスレバ、從來不幸ニシテ權利ヲ失ッた者ハ、サウ云フ者ハ將來ハ十分救済スルコトガ出來ルト考ヘマ

ス
○三善委員 此ハ第十一條ノ「恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス」此規定ニ付キマシテ、私共友人ノ陸軍大將デスガ、ドウモ是ハ宜シクナイト云フ、現在既ニ受恩給者ハ、生活難ノ爲ニ高利貸ニ恩給ノ權利ヲ押ヘラレテ居ル者ハ約八割アル、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、現在ソレヲ擔保ニシナイ者ハ二割位シカナイ、事實斯ウ云フ事デハ大變ナ事デアリマス、事實ノ有無ハ存ジマセヌガ、私ガ聞キマシタ話ヲ申スノデアル、サウ云フ話デアリマスカラ此法規ハイカナイ、矢張擔保ニ供シ、或ハ讓渡スルコトノ出來ルヤウニシテ欲シ、ソレハ堅實ナル保險會社等ニ之ヲ擔保ニ供シ、サウシテ一時金ヲ借り、勿論恩給ヲ受ケテ恩給タケデ生活シナイ者ハ無論結構デスガ、恩給ノミニ依ッテ生活シナケレバナラヌ場合ニ於テハ、之ヲ擔保ニ供シテ生活ノ資ニ供スル必要ガアル、然ルニ斯様ナ法規ニナルト、ソレガ出來ナイイカナイト云フ説ガアリマスガ、當局ノ御意見ハ如何デスガ

○馬場政府委員 只今三善君ノ御話ノヤウナ説ハ私モ承ッテ居リマス、是ハ餘程考モノデアリマシテ、果シテ恩給ヲ受ケル權利ヲ擔保ニ供スルコトガ出來ヌトシテ現行制度ガ宜シイカ、或ハ之ヲ擔保ニ供シ得ルコトガ宜シイカ、餘程議論ノ岐レル點ト思ヒマスケレドモ、併シ恩給ヲ云フモノガ年金主義ノモノデアルトシタナラバ、兎ニ角國方年々本人ニ給與シテ、本人ガ之ニ依ッテ生活シテ行クヤウニト云フ主義デ、テ居ルノデアリマス、ソレデ本人ノ都合ニ依ッテ擔保ニ供シ、其結果何カ或ル仕事ニ有附イテ資金ヲ得テ、之ヲ以テ生活維持ガ出來ルト云フ事ノミヲ考ヘルト大變良イヤウデアリマスガ、傷病恩給ノ如キ場合ニ於テ之ヲ擔保ニ供シテ金ヲ借りテ、何カ仕事ヲヤリ始めテ失敗シタ、其場合ニ全然自業自得ダカラト云フノデ國家ガ之ヲ顧ミスト云フコトハ餘程實際ニ於テ都合ガ悪い事デハナカラウカ、兩手兩脚ガ無イト云フヤウナ者ガ年々貰ッテ居レバ、擔保ニ供スルコトヲ得ズトアレバ兎ニ角表面キ擔保ニ取レナイ、年々食ッテ行ケルヤウニ政府ガヤッテ居ル、所ガソレヲ何カ儲ケ仕事ヲヤラウ、若クハソレヲ資本ニシテ仕事ヲヤラウトシテ、失敗シタ場合ドウデアアルカト云フコトヲ考ヘテ見レバ、國ハオ前ガ慾張ッタカラダ、自業自得ダカラ知ラヌゾト云フコトガ言ヘルナラバ差支ナイト思ヒマス、外國ノ例ヲ今一寸聽イテ見マシタガ、外國デモ差押ヲ許サヌト云フノガ原則ノヤウニナツテ居リマス、差押ヘルコトヲ許サヌデアリマスカラ、自ラ擔保ニ供スルコトガ出來ヌト云フコトニ解釋シテ宜シイト思ヒマス、佛蘭西、獨逸、白耳義大體サウノヤウデアリマス、成程政府ノ呉レル恩給ガ餘リ僅カデアル、到底食ヘナ

イカラ、認メテ擔保ニスルノダ云々ト言ハレルケレドモ、ソレナラバ政府ノ呉レル恩給ヲ出來ルケ増スト云フ論ニハナルケレドモ、擔保ニ供スルコトノ禁止規定ヲ取ツテシマウト云フ理由ハハナリ榮ネルト思ヒマス、此點ハ今ノ所ハ之ヲ許スト云フ見込ハ考ヘテ居リマセヌ

○三善委員 現在八割モ高利貸ニ押ヘラレテ居ルト云フコトハ餘リ話ガ大キイウデスガ、恩給當局者ハ略々御調ニナツタ點ガアリマセウカ

○入江政府委員 現在八割高利貸ノ手ニ押ヘラレテ居ルト云フノハ、何カノ誤リデアアラウト思ヒマス、前年遞信省デ詳シイ調ヲ致シマシタ表ニ依リマス、擔保ニ這入ッテ居リマス者ガ文官ノ恩給ガ八分、文官ノ遺族扶助料ガ七分、陸軍恩給ガ一割四分、遺族扶助料ガ四分、海軍ノ恩給ガ一割五分、海軍ノ遺族扶助料ガ五分、巡査看守ガ一割二分、同遺族扶助料ガ五分ト云フヤウナ割合デアリマシテ、平均シテモ二割ニハナリマセヌ

○三善委員 ソレハ何時ノ御調デスカ

○入江政府委員 是ハ少シ舊イノデアリマスガ、大正九年デアッタコト思ヒマス、併ナガラ擔保ニ供シマス狀況ハ大シタ差異ハナイカト考ヘテ居リマス

○松實委員 此ハ十六條ニ關係シタ事デアリマスガ、先刻八田君カラモ御質問ガアリマシテ、町村吏員ノ恩給ノ無いト云フコトハ、町村自治體ガアレバ宜イト云フヤウナ御答辯デアッタト思ヒマスガ、此町村吏員ガ其ニ永ク勤續シテ、罷メル迄ソコニ居ルト云フコトデアレバ、ソレハ町村自治體ニ委セテ置イテ差支ナイノデアリマスケレドモ、甲ノ村ニ居ッた者ガ乙ノ村ニ轉ジタ時分ニ、此制度ガ無い爲ニ繼續シテ年限ヲ計算スルコトガ出來ナイ、故ニ是非國庫ナリ地方費ナリヲ以テ、町村吏員ノ恩給制度ヲ定メテ貰ヒタイト云フヤウナ意見ガアリマスガ、ソレハ或ル方法ニ依リマシテ、小學校教員ノヤウニ其町村ニ或ル程度迄ノ負擔ヲサセテ、ソレヲ認定シテ通算スルト云フヤウナ制度ヲ設ケル必要ガアリハナイカト思ヒマス、一體町村吏員ト云フ者モ矢張小學校委員ト同ジ様ニ、殆ド地方ニ在ッテ獻身的ニ仕事ヲシテ居ルノニ、在勤中ニ受ケル俸給ト云フモノハ極メテ僅少デアッテ、事務ハ下級ノ自治團體ニ行ク程事ガ繁劇デ、殆ド休暇モ無ケレバ、勤務時間ノ如キモ殆ド無制限ニ、夜業モアルト云フヤウナ狀態デアルニモ拘ラズ、恩給ノ制度ガ立ッテ居ナイト云フコトハ——其町村ニハ立ッテ居リマセウケレドモ、小學校教員ナドヨリ一層繁劇ナ仕事ニ當ッテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付テ當局ノ御考ハ、總ノ御答辯ヨリ以外ニ御考ハナイモノデアリマセウカ、一應伺ッテ置キタイ

○入江政府委員 町村吏員ガ其事務ガ繁劇デアッテ、他ノ官吏ニ比シテ決シテ遜色ガナイト云フ御説ハ洵ニ御尤ニ存ジマス、之ヲ一定ノ一律ノ恩給制度ノ下ニ規律スルト云フコトハ、理想トシテハ洵ニ結構ナ事カト思ヒマスガ、一方町村ノ負擔モ考慮シナケレバナラス、又ソレナラバソレヲ國庫デ持ツタラドウカト云フコトモ考ヘ得ラレマスガ、御承知ノ通り小學校教員ナドノ恩給モ國庫デ持ツテ居リマセス、地方ノ府縣デ負擔ラシテ居ル譯デアリマス、之ヲ直ニ國庫デ負擔スルト云フコトハ行ハレ得ナイノデアリマス、ソレヲ將來ハ各町村ニ於テ互ニ連絡ノ取レタ恩給法ヲ町村ノ發達ニ從テ制定シテ宜カラウト云フ考ヲ持ツテ居リマス、確カ東京市ノ如キハ、唯、東京市ノ吏員トシテダケノ在職ノ年限ニ對シテ恩給ヲ給スルノデハナク、他ノ所ニ於ケル年限ヲモ通算スルト云フコトヲ認メテ居ルサウデアリマス、ソレデ町村條例ニ依ッテ、各自規定スル恩給法規ハ、互ニ町村ガ發達スレバ、互ニ關聯ヲ持チ、茲ニ統一シタル自治體ニ於ケル法規ガ出來ルノデハアルマイカト存ジマス、只今ハ町村ノ財政狀況其他ニ依ッテ、小サイ町村ニ於テ直ニ其程度ニマデ進メルト云フコトハ、實行致シ難ネルコト、存ジマス、理想トシテハサウ云フ方面ニ向フベク、獎勵シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○津野田委員 第八條ノ恩給ノ通算法ニ付テ伺ヒマスガ、例ヘバ下士出身、或ハ一年志願兵ガ方々デ中等學校ノ體操教師ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ一面ニ於テ武官トシテ下士ナラ下士ノ恩給ヲ受ケテ居ルガ、ソレハ額ガ少ナイカラ、其少ナクテ足ラヌ所ヲ補フ爲メ、教員ヲシテ俸給ヲ受ケテ居リマスガ、斯ウ云フ者ハ、矢張年限ヲ通算スルノデアリマスガ、私ノ申スノハ大尉以下デアリマスガ、是等ハ通算スベキデアリマスカ、是ハ別個ニ取扱フベキデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○入江政府委員 恩給統一ノ理想カラ、申シマスレバ、通算ヲシテ、而モ其俸給ハ相當ナル俸給ヲ給スルノガ理想デアルト思ヒマス、併ナガラ現實ニ於テハ左様ニハ參リ兼ねル次第デアリマス、地方ニ於ケル經費ノ關係等モアリマス、尉官ニ限ラズ凡ソ軍人デモ文官デモ恩給ヲ持ツテ居ル者ガ、中等學校ノ體操教員ニナリ、其他ノ教員ニナツトキハ、恩給ハ恩給デ取り、サウシテソレニ一定ノ俸給ヲ貰フト云フ、斯ウ云フ制度モ今ヤツテ居リマスシ、此際其制度ヲ變ヘテ恩給ヲ停止シテ、其雇ハレテ居ル所デ相當ノ月俸ヲ支給スルト云フコトニナルト、地方ノ負擔ガ非常ニ重クナツテ、現在ノ實際上ノ取扱トシテハ出來兼ねルノデアリマス、本法ニ於テ第八條ニ斯ウ云フ規定ガアリマス、又附則ニ於テ、中等學校教員其他地方ノ教育ニ從事スル者ニハ特例ヲ設ケテ居リマス、

ス、恩給ハ恩給トシテ依然實ヒ、其前ノ俸給額ニ達スルマデハ俸給モ貰フ、斯ウ云フコトニシテ居リマス、今御説ノ下士以上ノ各尉官デモ或ハ將官デモ、中等教員ニナツトキニハ矢張恩給ハ依然トシテ貰フト云フ程度ニシテ居リマス

○三浦委員 八八條第九條ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、今津野田君ノ御質問ガアリマシタガ、私ノ聽カント欲シテ居タ事デ、是ハ了解致シマシタガ、尙ホ豫後備ノ將校デアッテ、勤務演習ニ召集サレタ場合ニ進級致シマス、例ヘバ中尉カラ大尉ニ進級スル、サウスルト恩給ハ是マデハ大尉ノ恩給ハ給サレズシテ、前官ノ中尉ノ恩給ヲ給サレルガ今度ノ改正ニ於テハドウ云フコトニナリマンカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ第二ハ第九條ニ「年金タル恩給ヲ受クルノ權利ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ權利消滅ス、一死亡シタルトキ、二死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ、三國籍ヲ失ヒタルトキ」トアリマスガ、此國籍ヲ失ヒタルトキト云フノハ、何レ外國アタリハ歸化シタ人間ガラウト思ヒマスガ、現ニ亞米利加ハ歸化シテ居ル人デ、恩給ヲ失ツタト云フ陳情シテ來テ居ル者ガアリマスガ、是ハ兎ニ角、日本帝國臣民トシテ戰役ニ從事シテ相當ノ功勞ガアッテ、既ニ恩給年限ニモ達シタ者デアルガ、一朝ニシテ日本國民タルノ資格ヲ失ツタ場合ニハ停止スルト云フコトハ、少シ不當ナ事デハナイカト思ヒマス、假令國籍ヲ失ツテモ其人ノ功勳ハ存シテ居リマスカラ、是ハ均シク國籍ヲ失ツテモ、恩給ヲ支給スベキ性質ノモノデハナカラウカト自分共ハ考ヘテ居リマスガ、如何デスカ

○入江政府委員 演習召集中ニ進級シタル者ニ付テハ、如何ナル恩給ヲ給スルカト云フ御質問デアリマシタガ、演習召集中進級スルト云フ事實ハ有ルカ無イカ實ハ私ハ存ジマセス、恐ラク有ルマイカト思ヒマス、演習ガ終ツテカラ特殊ノ事情デ進級スルト云フコトハ、例ハアルカノヤウニ聞イテ居リマス、併ナガラ現行ノ恩給法規ニ依ッテハ、現役ヲ離レタ時ノ當該年限ニ依ッテ恩給ヲ定メテ居リマスカラ、現役ハ其標準デ恩給ヲ給スルコトニ此改正案モナツテ居リマス、次ニ國籍ヲ失ヒタル者ト雖モ、功勞者ニハ恩給ヲヤツテモ宜シイデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ一種ノ御議論ノヤウニ存ジマスガ、私ハ日本ノ國籍ヲ有スレバコソ其者ニ生涯恩給ヲ給シ、又遺族ニ扶助料ヲ給スルノデアリマス、ソレガ何カノ事情デ日本人ニ非ザル者トナツタ場合ニモ尙ホ恩給ヲ給シ、若クハ其子孫ニ遺族扶助料ヲ給スル必要ハアルマイカト考ヘマス、ソレデ國籍ヲ失ヒタルトキハ恩給權ハ無クナルト云フ規定ニシタノデアリマス

○三浦委員 能ク分リマシタ、ソレニ付テ私ハ反對意見ヲ

持ツテ居リマスガ討論ノ時ニ譲リマス

○石川委員 八八條第十一條ニ付テ御尋ヲ致シマス「恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス」ト云フコト、「擔保ニ供スルコトヲ得ス」ト云フコト、ハ、是ハ少シ意味ガ可笑シナ事ニナリハシナイカ、差押フルコトノ出來ヌト云フコトハ極ク大切ナ事ト思ヒマス、貸ス人ハ初メカラ差押フルコトハ出來ヌト云フコトヲ承知シナガラ貸スト云フノハ、是ハ好意デアルノデアルカラ洵ニ好イ事ト思ヒマス、其好意ヲ持ツタ人デモ、之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズト云フコトニナツテ居リマスルト、ドウモ御上ニ對シテ濟マナイト云フヤウナ氣ガスル、折角好意ガアッテモ、此簡條ガアルガ爲ニ貸スコトヲ非常ニ遠慮スル、良心ニ愧ヅルヤウナ氣モ起リ、隨テ恩給者ハ已ムヲ得ズ差押ガ出來ヌデモ、貸シテ宜シイト云フ高利貸ノ手ニ渡ラナケレバナラスト云フコトニナル、サウスルト色々ノ費用ノ科目ヲ設ケテ、僅ノ金デモ一生自分ノ物ニナラナイト云フ風ニナツテ來テ居ルノデアル、法律ノ見解ハ存ジマセヌケレドモ、事實ヲ申シマスルト擔保ニ供スルコトヲ得ズト云フコト、差押フルコトヲ得ズト云フノハ、全く反對ノ現象ヲ生ズル、此差押フルコトヲ得ズト云フコトダケ遺入ラテ居レバ、擔保ニ供スルコトヲ得ズト云フコトハ省イテ方ガ、却テ受恩給者ノ爲ニ實際上利目ガアリハセヌカト思ヒマスガ如何デスカ

○入江政府委員 差押ガ出來ナイモノヲ擔保ニ供スルト云フコトハ、理論ノ上デハ出來兼ねルコト、思ヒマス、今ノ御話ハ理論ノ上デハナク實際ノ上デアルト云フコトデアルガ、差押ハ出來ナイガ擔保ニ供セラレルト云フコトハ、先程モ法制局長官カラ申述ベマシタ如ク、年々一定ノ額ヲ給スルト云フ恩給ノ精神ニ關シテドウデアラウカ擔保ニ供スルコトヲ得ズト云フ制限ヲ撤廢シマシテ、差押ハ出來ナイガ融通ハサセルト云フコトニナルト、其結果ガ矢張事實問題トシテドウナルデアラウカ、僅カナ年々百圓カ二百圓宛貰フト云フヨリハ、此際總メテ千圓ナリ二千圓ナリ貰ツテ事業ヲ始メテ見ヤウト云フ者ガ澤山出テ來ハシマイカ、餘計ナ老婆心ノヤウデハゴザイマスケレドモ、若シサウ云フ者ガ澤山出テ來タ時ニ、ソレ等ハ先ヅ失敗スルモノト見ナケレバナラス殊ニ軍人ノ如キハ、豫後備ニ在ッテ其階級相當ノ威嚴ヲ保タナケレバナラス者ガ、一朝失敗シテ此恩給ヲ擔保ニ取ラレルト云フコトニナルト、ソレハ軍人ニ年々國家ガ恩給ヲ支給スルト云フ精神ニ反スルモノデヤナイカ、又先程モ法制局長官ガ申シマシタ如ク、ソレ等ガ失敗シタノハ自業自得デアル、故ニ豫後備ノ軍人ガ如何ナル貧窮ナ生活ヲシテモ、國家ハ心配シマセヌト言ウテ濟シテ居ラレルモノナラバ宜シウゴザイマスガ、ドウモサウ云フ譯ニハ行カナイ、ソレニ一定ノ

金額ヲ年々支給スルト云フ所以ノモノハ、其軍人ニ相當ノ衣食——全部トハ申シマセズ、相當ノ金額ヲ支給シテ置クト云フ、此恩給制度ノ根本精神ニ反スル結果ニナリハシナト云フ、殊ニ傷病恩給ノ如キ自業自得ト云ヒ、其者ガ失敗シタト云フ、國家ガ之ヲ默シテ見殺シニスル譯ニハ行カナイダラウト思フ、斯ウ云フヤウナ事實上ノ來ルベキ結果ガドウデアラウカト云フコトヲ、餘程考慮スル譯デアリマス、ソレ等ノ救済ガ出來マシラバ、或ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズト云フヤウナ、餘計ナ老婆心ノ如キ制度ハ取テモ宜シイカト思ヒマスルガ、ドウモ之ヲ取テ結果ヲ考ヘテ見マス、斷然之ヲ取テ宜シイコト云フ確信ハ持テナイノデアリマス、ソレデ餘計ナ事デアリマスルカ知ラヌガ、先達モ説明致シマシタ通り、特別ナ場合例ヘバ病氣トカ何トカ云フ、特別ナ場合ニ救済スル途ヲ講ズル方適當デハナイカ、事業ノ資本トカ云フモノニ恩給ヲ向ケルト云フコトハ恩給ノ性質ニ合シナイガ、併ナガラ特別ノ事由ノ爲ニ金ガ要ルト云フトキニドウカナナイカト云フノデ、是ハ簡易保險其他ノ事ヲ實ハ研究中デアアルノデアルカラ、何方適當ナル成案ヲ得タナラバ、相當ノ途ヲ講ジタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○根本委員 先刻私ハ質問シヤウト思フタンデスガ、近來實業補習學校ト云フモノガ益々増加シテ、後來モ益々教育ノ爲ニ是ハ増加スル模様デアリマス、此「二十二條」ノ「教育職員トハ」ト云フコトニ付テ說明ガアリマスルガ「公立」ノ學校若ハ圖書館又ハ在外指定學校ノ職員ニシテ國庫ヨリ俸給ヲ給セサル官ニ在ルモノノ及判任官以上ノ待遇ヲ受クルモノトアル、此中ニハ——補習學校ノ教員養成所ト云フモノガアルガ、此法案ノ意味ハ、此養成所ノ職員ヲモ無論含シテ居ルモノト思ヒマスルガ、是ハ如何デアリマセウカ確メテ置キタイ

スノハ、是ハ幾ラデモ實例ガアルコトデアリマス、參謀ノ事務トカ、其他砲兵工廠ノ事務トカ、戰時ニ於ケル戰務デアリマスガ、戰線若クハ戰場ニ行ッテ戰闘ハシナイト云フ例ハ幾ラモアリマス、是ハ戰務ニ服スルト云フデモ、戰場ニ在ッテ戰務ニ服スルトハ程度ガ違ヒマスカラ、加算ノ程度ヲ異ニシタ譯デアリマス、内地戰ト云フデモ成程戰爭デアレバ、外國ニ於テモ、内地ニ於テモ危險ノ程度ハ同ジ様デアリマスガ、一方カラ考ヘマスト例ヘバ西伯利ノ野ニ行ッテ戰爭ヲスルノト、馬關ノ砲臺ニ立籠ッテ戰爭スルノトハ、其勤務ノ狀態ガ餘程違フドラウト思ヒマス、現行法ニ於キマシテモ、內國戰ト外國戰トハ加算ノ程度ヲ區別シテ居リマス、此法律ニ於キマシテモ是等ノ點ヲ考察シテ、內國戰ハ二分ノ一トシタ次第デアリマス

○入江政府委員 是ハ御承知ノ通り權利ガ發生シテカラ七年間抛テ置イタ、サウシテ七年ノ終リニ於テサア出サウト云フトキニ、其者方、天災地變ニ遭ツタカラ、尙ホ二十日延バシテヤルト斯ウ云フ譯デアリマス、在來ノ規定ヨリハ遙ニ餘計ニナツタ譯デアリマス、ノミナラズ民法ノ百六十一條ニハ一般ノ時効ノ規定ガゴザイマシテ、此猶豫期間ガ二週間ニナツテ居リマス、恩給法デ二週間ヲ特ニ二十日ニ延バシタノハ、只今ノ交通狀態其他カラ考ヘマシテ、先ヅ二十日アツタラ適當デアラウト斯ウ云フ考デ、二十日ヲ置イタ譯デアリマス、絕對ノ二十日デナケレバナラヌト云フ理由ハアリマセズケレドモ、民法ヨリ尙ホ延バシタト云フコトハ御諒承ヲ願ヒタウゴザイマス

○入江政府委員 第一ノ點ハ先程法制局長官モ申上ゲマシタ通り、或ル條件ノ下ニ考慮スルコトハ政府ニ於テモ異議ナイコト、信ジマス、條件ト申シマスノハ現在直ニサウシロト仰リヤッテモ、是ハ既得權トデモ申シマスガ、十年巡査看守ヲ勤メテ、明日ニモ恩給ガ貰ヘルト思フデ居タモノヲ、イヤオ前ハ十一年デナケレバヤラスゾト云フコトハ出來兼ネルト思ヒマス、相當ノ期間ヲ置キマシテ、相當ノ方法ニ依ッテ之ヲ一律ニスルコトハ考慮スルコトガ出來ルト考ヘマス、第二ノ點戰地外ニ在リテ戰務ニ服シタトキト申シマ

○津野田委員 第二十一條第一節第二軍人ノ定義ガアリマス「一、陸軍又ハ海軍ノ現役、豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在ル者」、分限令ニハ退役ト云フノガアリマスガ、何故退役ト云フモノヲ御認ニナリマセヌカ

○入江政府委員 是ハ御承知ノ通り權利ガ發生シテカラ七年間抛テ置イタ、サウシテ七年ノ終リニ於テサア出サウト云フトキニ、其者方、天災地變ニ遭ツタカラ、尙ホ二十日延バシテヤルト斯ウ云フ譯デアリマス、在來ノ規定ヨリハ遙ニ餘計ニナツタ譯デアリマス、ノミナラズ民法ノ百六十一條ニハ一般ノ時効ノ規定ガゴザイマシテ、此猶豫期間ガ二週間ニナツテ居リマス、恩給法デ二週間ヲ特ニ二十日ニ延バシタノハ、只今ノ交通狀態其他カラ考ヘマシテ、先ヅ二十日アツタラ適當デアラウト斯ウ云フ考デ、二十日ヲ置イタ譯デアリマス、絕對ノ二十日デナケレバナラヌト云フ理由ハアリマセズケレドモ、民法ヨリ尙ホ延バシタト云フコトハ御諒承ヲ願ヒタウゴザイマス

○入江政府委員 第一ノ點ハ先程法制局長官モ申上ゲマシタ通り、或ル條件ノ下ニ考慮スルコトハ政府ニ於テモ異議ナイコト、信ジマス、條件ト申シマスノハ現在直ニサウシロト仰リヤッテモ、是ハ既得權トデモ申シマスガ、十年巡査看守ヲ勤メテ、明日ニモ恩給ガ貰ヘルト思フデ居タモノヲ、イヤオ前ハ十一年デナケレバヤラスゾト云フコトハ出來兼ネルト思ヒマス、相當ノ期間ヲ置キマシテ、相當ノ方法ニ依ッテ之ヲ一律ニスルコトハ考慮スルコトガ出來ルト考ヘマス、第二ノ點戰地外ニ在リテ戰務ニ服シタトキト申シマ

○津野田委員 第二十一條第一節第二軍人ノ定義ガアリマス「一、陸軍又ハ海軍ノ現役、豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在ル者」、分限令ニハ退役ト云フノガアリマスガ、何故退役ト云フモノヲ御認ニナリマセヌカ

○入江政府委員 是ハ御承知ノ通り權利ガ發生シテカラ七年間抛テ置イタ、サウシテ七年ノ終リニ於テサア出サウト云フトキニ、其者方、天災地變ニ遭ツタカラ、尙ホ二十日延バシテヤルト斯ウ云フ譯デアリマス、在來ノ規定ヨリハ遙ニ餘計ニナツタ譯デアリマス、ノミナラズ民法ノ百六十一條ニハ一般ノ時効ノ規定ガゴザイマシテ、此猶豫期間ガ二週間ニナツテ居リマス、恩給法デ二週間ヲ特ニ二十日ニ延バシタノハ、只今ノ交通狀態其他カラ考ヘマシテ、先ヅ二十日アツタラ適當デアラウト斯ウ云フ考デ、二十日ヲ置イタ譯デアリマス、絕對ノ二十日デナケレバナラヌト云フ理由ハアリマセズケレドモ、民法ヨリ尙ホ延バシタト云フコトハ御諒承ヲ願ヒタウゴザイマス

○入江政府委員 第一ノ點ハ先程法制局長官モ申上ゲマシタ通り、或ル條件ノ下ニ考慮スルコトハ政府ニ於テモ異議ナイコト、信ジマス、條件ト申シマスノハ現在直ニサウシロト仰リヤッテモ、是ハ既得權トデモ申シマスガ、十年巡査看守ヲ勤メテ、明日ニモ恩給ガ貰ヘルト思フデ居タモノヲ、イヤオ前ハ十一年デナケレバヤラスゾト云フコトハ出來兼ネルト思ヒマス、相當ノ期間ヲ置キマシテ、相當ノ方法ニ依ッテ之ヲ一律ニスルコトハ考慮スルコトガ出來ルト考ヘマス、第二ノ點戰地外ニ在リテ戰務ニ服シタトキト申シマ

○津野田委員 第二十一條第一節第二軍人ノ定義ガアリマス「一、陸軍又ハ海軍ノ現役、豫備役、後備役又ハ補充兵役ニ在ル者」、分限令ニハ退役ト云フノガアリマスガ、何故退役ト云フモノヲ御認ニナリマセヌカ

○高橋委員長 就キマシテハ四十三條迄全部ヲ議題ニ供シマス

○高橋委員長 就キマシテハ四十三條迄全部ヲ議題ニ供シマス

○高橋委員長 就キマシテハ四十三條迄全部ヲ議題ニ供シマス

當然ノ年限ニ、尙ホ其當然以外ノモノヲ算入スル規定デアリマス、仍テ軍人ニ於テ兵役ニ服スル間ハ、二十八條ノ規定ガアルト思ヒマスガ、勿論恩給年限ノ基礎トナルベキモノデゴザイマス、是ハ文官デモ何デモ皆通算サレルコトニナッテ居リマス

○長谷場委員 四十二條第三項ニ「高等文官ノ試補又ハ判任官見習引續キ公務員ト爲リタルトキハ」云々ト云フコトガアリマスガ、是ハ確カ四十二議會ニ建議案トシテ通過シタト云フコトデアリマスガ、詰リ議員ト云フモノガ引續キ公務員トナッタトキニ、公務員トシテノ勤続年限ニ付テハ、是ハ四十三議會デ通過シテ居ルヤウニ承ッテ居リマスガ、當局ハ此議員ヲ御入レニナル御考ハアリマセヌカ

○入江政府委員 出來得ベクンバ或ル制限ノ下ニ、通算關係ニ入レタカッタノデアリマスガ、調査ノ結果先達法制局長官カラ申シタヤウニ、雇員ト云フ中ニハ國家デ給與ヲ受ケテ居ル者モアリ、又居ラザル者モアリ、又雇員ト云フ者ノ中ニモ執ル所ノ職務ノ性質ガ、公務員ト見ルベキモノト、殆ト僱人ト同ジヤウナ事ヲシテ居ル者モアルノデ、一樣ニ律スルコトハ不穩當タルコトヲ免レナカッタノデアリマス、仍テ雇員ハ其執ル所ノ職務ニ從ッテ相當ノ施設ヲスル方ガ、恩給ニ入レルヨリハ適當デアラウト云フコトニナッタノデアリマスガ、是モ全ク恩給ト切離レタ方ガ宜シイト云フ確信ハアリマセヌケレドモ、其儘ニ恩給法ニ入レルト云フコトハ不穩當デアラウト思ヒマス、是ハ後ノ研究ニ讓リタイト考ヘテ本案ニ入レナカッタノデアリマス

○長谷場委員 多クノ場合ニ於テ同様デアリマスガ、此五箇年在職シタ上ニ判任官ニ任用サレルヤウニ承ッテ居リマスガ、是レ以上ニナルト議論ニナルカラ保留シテ打切りマヌ

○津野田委員 第三十九條ニ「海上勤務ニ服スル公務員ニ云々トアリマスガ、之ニ航海ノ年月ヲ加算シテ居リマスガ、陸軍ニ於テモ機動演習大演習ニ於テハ戰時同様ノ活動ヲシテ居リマスガ、之ヲ計算シナイノハドウ云フ理由デアリマスカ

○入江政府委員 海上勤務ニ服スル者ハ、遠洋航海ニ服シタルトキハ、現行法デモ或ル一部分ハ認メラレテ居リマスガ、此改正法ニ於キマシテハ、ソレト同等ナルモノヲ包括シタイト云フ考デアレタノデアリマス、陸軍ノ機動演習其他ノ演習ハ成程——陸軍ノ現役軍人困苦ノ狀況ハ違ヒマセウガ、此恩給ノ年限ニ付テハ通算致シマスケレドモ、ソレガ爲ニ特ニ加算スルコト云フコトニハシナカッタノデアリマス

○津野田委員 恩給局長ハ文官ダカラ御承知ナカラウト思ヒマスガ、實際陸軍ノ機動演習大演習ハ、疲カサズ食ハサズ

走ラセルト云フコトデアル、隨テ危險ノ程度モ多ケレバ、又傷害其他ノ病氣ニ罹ル者ガ多イ、遠洋航海ノ蝸牛ガ匍ウテ行クヤウナモノヲ認メ、陸軍ノソレヲ認メラレヌノハ不穩當デアリマセヌカ

○入江政府委員 遠洋航海ハ海軍ノ如キモノニ在ッテハ、現行法ニ認メラレテ居リマスル關係上、必シモ海軍ニ限ラズ、風波ヲ冒シテ遠イ所ニ電線ノ敷設ニ行クコトカ云フ如キコトヲ此所ニ加ヘル積リデアリマス、ソレガ陸軍ノ機動演習トドツチガ困難カト云フコトハ、今御話ノ通り私ハ能ク存ジマセヌガ、少クモ風波ト關テ行クノデアリマス、無論ソコイラノ近海ヲ——近海デナクテモ遠洋デモ、呑氣ニ行ッテ來ルヤウナモノヲ加ヘル積リデアリマセヌ、數箇月以上モ海上ニ漂フト云フヤウナ場合ヲ規定スル積リデアリマス

○高橋委員 長 ドウデス、今マデノ四十三條マデハ質問ガ濟ンダノデアリマスガ、第四十四條ヨリ五十九條迄議題ニ供シマス

○津野田委員 此四十六條デアリマスガ「公務ノ爲傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ失格原因ナク退職シタ後五年内ニ之ガ爲不具癡疾」云々トアリマスガ、五年ト云フノハ何カ理由ガアリマスカ

○入江政府委員 五年ト云フ年限ハ、一定ノ動スベカラザル理由ガアツタ譯デハゴザイマセヌ、御承知ノ通り軍人杯ハ、現役中ニ傷ヲ受ケテ大シタ事モナイト思ッテ居タ者ガ、停年ガ來テ退職スルコトニナツ場合ニ、現行法デハ之ニ傷痕者トシテ恩給ヲ給スルコトニナツ居ナイノデ、重症ニ赴イタ者ニ一定ノ恩給ヲ給スルコトニナツ居リマス、三年ハ其儘デソレヨリ後ニ重症ニナル者ガアリマスガ、一方ニ之ヲ無制限ニ延スコトモ困ルノデ、今日ノ醫學上認定ガ付カヌト云フ關係カラ、之ヲ五年ニ延バシタ譯デアリマス、五年ハ今日ノ醫學上大シタ誤リナク判斷ガ出來ルデアラウト云フ所ノ專門家ノ見解デアリマス

○津野田委員 是ハ一昨年ト記憶シテ居リマスガ、恩給局長ニ書キ物ヲ渡シタコトガアリマスカラ御記憶ノコト、思ヒマスガ、現ニ滋賀縣ニ於テ十數年後ニ之ガ公傷デアルト云フコトガ發見サレタ事實ガアリマス、又光線デ胸部ニ彈丸ガ這入ッテ居タコトガ分ッタ、ソレハ怠慢デ其儘經過シタガト云フト、受ケル恩給ガ少ナク、適當ナル醫者ニ診テ貰フコトガ出來ズ、其爲ニ長引イテ居タ、然ルニ赤十字ノ慈善的ノ醫者ニ診テ貰ッタラ、又光線デ見テ彈丸ガ胸ニアツタト云フコトガ分ッテ、増加恩給ノ恩典ニ浴シテ居ル者ガアル、地方ニ斯ウ云フ事ハ少ナクナイ、今同フト五年ト云フコトハ確乎タル基礎ガ無イト云フコトデアッタラ、十年ニ延バンタラ如何デアリマスカ

○入江政府委員 サウ云フ顯著ナル場合ニ付キマシテハ、特ニ項ヲ設ケテ救済スル方法ヲ設ケマシタ、今日ノ醫學上五年ハ分ルコトデアリマセウガ、尙ホ五年以上十年經テ二十年經テ者デ、公務ニ原因スルモノト認メラル、者ハ、項ヲ設ケテ救済スルコトニシデアリマス

○仙波委員 然ラバ只今ノハ、無期限ニ爲サレテハ如何デス

○入江政府委員 無期限デアリマス

○仙波委員 五年ト云フコトニナツテ居リマスノヲ……

○入江政府委員 ソレハ困リマス、今ノヤウナ顯著ナル例ナレバ分リマスガ、例ヘバ肺ヲ惡クシタ、神經ヲ惡クシタト云フ者ハ無期限ニナツテハ、ソレガ公務ニ基因シタルヤ否ヤト云フコトハ、到底今日ノ醫學上デハ判別スルコトガ出來ナイ、ソレデ其顯著ニ判別スルコトノ出來ルモノニ對シテハ、無期限ニソレヲ査定スルコト云フ規則ニシテ居リマス

○三浦委員 四十六條ニ就テ尙ホ伺ヒマスガ、増加恩給ト云フノハ、公務ニ基因スル傷痕疾病ノ爲ニ退職シタルトキハ、普通恩給ト増加恩給ヲ給スルアリマスガ、是ハ不具癡疾トナツタノデアリマスカラ、普通恩給ト切離シテ増加恩給トカ、或ハ不具恩給トカ云フコトニハ出來ナイモノデアリマセウカ

○入江政府委員 是ハ矢張切離シタ方ガ宜イト云フ說モ立チマセウガ、又普通恩給ト併ビ給スル方ガ宜シイト云フ說モ立チウカト思ヒマス、外國ノ例ノ如キハ切離スト云フヨリハ、寧ロ此恩給年限ニ達シマセヌ者ニハ、傷病恩給ノミヲ給シテ居ル事例モアルノデアリマス、議論ハ双方カラ立チマヌガ、此案ニ併給スルコトニ掲ゲマシタ所以ハ、一方普通恩給ハ、其者ガ公務ノ爲ニ兎ニ角一定ノ年限ヲ經テ其能力ヲ減衰シタル者、殊ニ公務傷病ノ爲ニ身體ガ惡クナツタト云フ者ニハ、之ニ普通恩給ハ普通恩給トシテ給シ、其上ニ傷病ニ依ッテ來ル所ノ特別ノ理由ニ基イテ、傷病恩給ヲ給スル方ガ適當デアアルマイカト云フ考デ併給スルコトニ致シタノデアリマス

○三浦委員 此「増加恩給」ト云フノヲ「不具恩給」ト云フコトニシテハイケナイノデセウカ

○入江政府委員 増加恩給ト申シマスガ、此法律デハ増加恩給トハ申シテ居リマセヌノデ、之ヲ傷病恩給ト申シテ居リマス——是ハ私間違ヒマシタ、矢張増加恩給デ支給シテ居リマス

○石川委員 先刻質問ニナリマシタ四十二條ノ第二項デアリマスガ、參考書ニハ公務員ハ週ッテモ宜シイ、審査會デサウナレバ宜シイト云フコトニ書イデアリマスガ、本文デハ其意味カ一向出テ來ナイヤウデアリマスガ、豫後備デ召集

サレタ年月ハ恩給ニ加ヘルト云フコトデアリマスガ、以後ノ事デアリマスガ、是ハ以前ニモ週ルノデアリマスガ、恩給法ノ出ル前ニサウ云フ人ガアレバ、調査會ニ掛ケテ決定スレバ、適テモ宜シト云フコトガ説明書ニアッタノデアリマスガ、此法案ニハサウ云フ事ハ何所ニモ見エナイヤウデアリマスガ……

○入江政府委員 九十八條九十九條ニ其事ガ書イテアリマス、九十八條ニハ「本法施行前退職シタル公務員ニ付之ヲ適用ス」前項ノ規定ハ公務員ニ準スヘキ者ニ付之ヲ適用ス」ト致シマシタ

○石川委員 隨テ豫後備ノモノハ這入ルノデアリマスガ、入江政府委員 這入リマス譯デアリマス——今ノハ通算ノ關係ト傷病ノ關係ト、二ツデアッタカノ如ク承リマシタガ、傷病ノ關係ハ適テヤルノデ、通算關係ハ本法施行前ニ權利ガ確定シタ者ニハ無イノデアリマス、而シテ豫後備ニ這入ッテシマツ者ニハ無イ

○石川委員 豫後備ノハ以後ダケデアリマスガ
○入江政府委員 ソレハ本法施行以後ダケデアリマス、以前ハ無イノデアリマス

○三浦委員 私モ四十九條ニ付テ尙ホ伺ヒマス、「公務傷病ノ原因ヲ分ツテ戰闘又ハ戰闘ニ準スヘキ公務ト普通公務トス」ト斯ウ云フ風ニ分レテ居リマスガ、是ハ戰闘デアッテモ公務デアッテモ、負傷ノ程度ガ同ジデアレバ失張增加恩給ヲ受クルノデアリマスガ、此戰闘ト云フコト、公務ト云フ事ノ區別ナク、總テ公務ト云フコトニシタイト云フ考デアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアッテスウ云フ風ニ分ケタノデアリマスガ

○入江政府委員 公務ニ因ッテ受クル傷病ノ如キハ、程度及ソレニ對スル本人ノ苦痛ハ成程同等デアリマス、併ナガラ一方カラ申シマスルト、國家有事ノ時ニ當ッテ戰爭ニ從事シテソレガ爲ニ名譽ノ負傷ヲシタ者ト、唯、日常ノ公務ニ從事シテ負傷ヲシタ者トノ間ニ或ル相當ノ差ガアルト云フコトガ、殊ニ此適用ヲ受ケマス大部分ノ軍人ノ精神ノ上ニハ、重大ナル關係ヲ持ッテ居リハシナイカト考ヘマシテ、ソレデ此區別ヲ置イタノデアリマス、併ナガラ現行法ニ於キマシテハ、公務ニ因ルモノト——即チ戰闘以外ノ公務ニ因ルモノト、戰闘ニ因ルモノトノ差ガ約七十分ノ等デアリマス、是ハ一方カラ考ヘマス、傷病ノ程度ガ同ジデアルニ、七十分ト云フノハ稍々差ガ多クハナイカト云フノデ、改正案ハ八十分乃至八十分ノ差ニ致シタノデアリマス

○三浦委員 尙ホ伺ヒマスガ、近イ例ヲ舉ゲマスルト、機動演習ノ時ニ於テ砲兵ガ砲車ニ轢レテ轢死シタ、而モ公務執行中デアリマス、サウ云フノハ是ハ戰死ト同様デアリマス、

僅ニ豫後備兵ガ三週間カ四週間ノ召集ニ應ジテ、サウシテ機動演習ニ從事シテ、戰死同様に災難ニ罹ラタノデアル、是ハ當然戰死同様ノ取扱ヲ受ケベキモノデアラウト思フ、軍隊ニハ斯様ナル例ガ澤山アルノデアル、是ハ只今ノ八十分ト云フヤウナ區別デナク、同様ニ御取扱ニナッテ然ルベキモノデアルト云フ論ガ一部軍人間ニモアルノデアリマスガ、尙ホ之ニ付テ一層御考慮ヲ煩シタイト思ヒマスガ如何デアリマセウカ

○入江政府委員 成程サウ云フ例ヲ採リマスルト、稍々戰死ニ類シタ者モアリマセウカ、中ニハサウデナク、公務デアルガソレ程マデナイ者モ澤山アリマス、ソレヲ一々區別スル、區別出來得マスレバ區別シタイノデアリマスガ、區別出來ナイノデアリマス、例ヘバ命令ニ依ッテ或地點カラ或地點マデ行ク、其處デ汽車ガ來テ轢殺サレタト云フヤウナ場合モアリマス、軍隊輸送ノ時ニ、汽車ガ衝突シテ死シタト云フ場合モアリマス、モット輕イ場合ハ幾ラモアルノデアリマス、仍テ之ヲ一々區別シマスコト、困難デアリマスカラ、先ヅ今ノ戰闘ト然ラサルモノトニ區別スルコトガ、實際ニ適合シテ居ルノデハナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○津野田委員 第五十九條ニ就テ承リマスガ、文官ハ毎月俸給ノ百分ノ一ヲ國庫ニ納メルト云フコトガアリマス、武官ニハアリマセウカ均シク國家ノ公僕デアル、然ルニ文官ハ斯ウ云フ事ヲ致シマスカラシテ、之ガ多數ノ人ガ數年間積シタ、金ハ隨分大キナ額ニ上ララウト思ハレマス、サレバ文武官ノ間ニ其待遇法並分與スル金額ニ於テ、例ヘバ退職其他失職等ノ場合ニ於テ差別ヲ生ズルコトハ、當然ノ歸結ニナル譯デアリマスガ、同ジク國家ノ公務員デアル以上ハ、之ヲ若シ文官デアッテスウ云フコトガ必要デアレバ、武官モヤッテハ如何ナモノデアリマスガ

○入江政府委員 此文官ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ國庫ニ納付スルト云フコトニ付テハ、長イ沿革ガアルヤウニ存ジマスガ、一々此所デ申シマセウ、現行法ニ於テ百分ノ一ヲ納メテ居リマスガ、軍人小學教員等ハ納メテ居リマセウ、隨テ文官ノ方モ之ヲ廢メル方ガ宜イカモ知レマセウ、財政窮乏ノ時デモアリマスルシ、文官ノ方ヲ止メルト云フコトハ、財政上頗ル困難ナ事デアラウ、サレバト云ウテ軍人、巡查、學校職員カラ今日之ヲ取ルト云フコトハ、サナキダニ俸給ノ低イ者ヲ、之ヲ今日以後取ルト云フコトモ洵ニ困難デハナイカ知ラント思ヒマス、殊ニ軍人ノ下士以下ノ者カラハ是ハ取ル餘裕ガ無イノデアリマス、唯、將校以上ノ軍人ダケカラ取リマシタ所デ、偏頗デアルト云フ點ハ均シク殘ル譯デアリマス、仍テ本案デハ現行法ノ儘其儘ヲ此所ニ採ッテ譯デアリマス、財政上ノ都合ガ付キマスレバ、寧ロ此

百分ノ一ノ國庫納金ハ廢止シタ方ガ宜イノデハナイカ、均シクドレモ納メナイト云フコトニ統一シタ方ガ宜イノデハナイカト思ッテ居リマス、是モ財政ノ關係カラスウ云フ事ニ行兼ネテ居ッテ次第デアリマス

○津野田委員 此恩給改正法案ハ、統一ト整理ト云フコトヲ標榜シテ居ラレル以上ハ、力メテドウカ文武官モ平等ニ、總テノ事ニ付テスウ云フ差別ノナイヤウニセラレンコトヲ私共ハ希望スル次第デアリマス、止メルナラバ兩方共止メ、行フナラバ兩方共平等ニ行ヒタイコトヲ希望シテ置キマス、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○石川委員 公務中ニ過失デ疾病若クハ負傷シタ者ハ、恩給ニ與カラヌヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、軍隊ハ殆ド斯ウ云フヤウナ事ハ過失カラ來ルモノトシテ、平素教育シテアルノデアリマス、ソレデ故意ニスルノハ已ムヲ得スデアリマスガ、過失ト云フノハ酷デハナイカト思ヒマスガ、ドウ云フモノデセウカ

○入江政府委員 御尤ニ考ヘマスノデ、特ニ重大ナル過失ト申シテ居リマス、是ガドノ點マデ重大ナル過失ナリト云フコトハ、事實ニ於テ頗ル認定ニハ困難デアラウト思ヒマスガ、併ナガラ如何ニモ是ハヒドイ、是デ以テ國家ガ此增加恩給ヲ給スルコト云フコトハ、不條理デアルト思ハレル點ダケヲ排除シタイト云フ考デアリマス

○高橋委員 大抵此所マデノ質問ハ宜シウゴザイマセウナ——次ノ第二節「恩給金額」ト云フコトカラ最後マデノ質問ヲ議題ニ供シマス、サウスレバ恩給法案ノ質問ハ全部済ミマス、サウシテ願クハ之ヲ以テ質問ヲ打切リト致シマシテ、兩三日或ハ四五日間ヲ置イテカラ、更ニ討論決議ヲ致シタイト思ヒマス、第六十條ヨリ一番終リマデ質問ヲ御願シマス

○根本委員 私ハ此百四條ニ就テ質問ヲ致シマスガ、之ニハ從前ノ規則ニ依ッテ、自己便宜退官ノ時ハ恩給ヲ受ケナイコトニナッテ居リマスガ、此度ノ法案ノ規則ニ依リマスルト云フト、增加恩給ヲ受ケルト云フコトニナッテアリマス、例ヘバ小學教員ト云フヤウナ者ガ十一年勤メル、ソコデ自分ノ便宜デ正直ニ眞面目ニ辭職スルト恩給ガ出ナクナル、若シ之ヲ疾病トカ何トカ云フヤウナ名目ヲ付ケルト、ソレガ後ノ恩給ニ繼續スルト斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、今度ノ法律ニ依ルトスウ云フ事ガ無クナッテ居リマス、從來ハ眞面目ニヤッタ人ノ方ガ大抵損ヲシテ、サウシテ僞タ人ノ方ガ利益ヲ得テ居ルヤウニナリマスガ、此度ノ改正デ前ノ分モ受ケルヤウナ譯ニスルコトガ適當ト思ヒマスガ、之ニ付テハ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラレマスガ一寸伺ヒマス
○入江政府委員 前ノ分ト仰シタルノハ、本法施行前ニ自己

便宜ノ退官ニ依ッテ權利ヲ既ニ失フテ居ル者、ソレヲ新ニ復活セテラドウカト云フコトデアリマスガ、之ヲ復活致スト云フコトハ、種々權利關係ニ於テ複雑ナル關係ヲ生ジマスノミナラズ、其當時有効デアッタ法律ノ効果ヲ無ニスルト云フコトハ、實行上非常ニ困難ヲ生ズル事デアラウト思ヒマス、本法ニ於キマシテハ、今後本法施行後ハソレ等ノ瑕瑾ヲ認メナイガ、本法施行以前ハ、其以前ニ効力ガアッタ所ノ法規ニ從フコトヲ原則ヲ執ッテ譯デアリマス

○三浦委員 第八十一條ノ二項ニ就テ御尋致シマス「前項ノ一時扶助料ノ金額ハ兄弟姉妹ノ人員ニ拘ラス扶助料年額ノ一分乃至五分分ニ相當スル金額トス」此一年分乃至五分分ト云フコトハ、何ニ依ッテ斯ウ云ウ事ガ出マシタノデスカ一寸ソレヲ伺ヒタイ

○入江政府委員 此一時扶助料ハ兄弟姉妹ニ給與スベキモノデアリマシテ、一時金デアリマスガ、是モ從來矢張同等ノ率ニナッテ居リマシテ、從來ノ實例ハ内規ニ依ッテ兄弟ガ例ヘバ一人アルトキハ一年分ヲ給シ、三人アル場合ニハ三年分ヲ給スル、斯ウ云ウ譯デアッテ居リマス、ソレガ實情ニ適シテ居ルヤ否ヤト云ヒマス、必ズシモサウデナイ場合モアラウト存ジマスケレドモ、先ヅ兄弟姉妹ノ人數ニ應ジテヤルト云フ内規ニナッテ居リマス

○三浦委員 其金額ハドウナリマスガ、一年分ト云フコトハ何ノ一年分ニナリマスガ

○入江政府委員 扶助料年額ノ一年分デアリマス

○高橋委員 委員長ニ一寸御願シテ置キマスガ、私共黨ノ代議士デ、委員外ノ前川君ガ質問シタイト云ッテ居リマシタ、今居リマセスカラ今日ハヤラヌノデアリマセウガ、今度ノ會ノ初ニ於テ、大體ニ就テ何カ質問ガアルサウデアリマスカラ、御許シ下サルコトヲ願ッテ置キマス

○高橋委員長 宜シウゴザイマスガ、皆サンニ御諮リ致シマスガ、先刻前川君ガ來テサウ云フ希望デアリマシタガ、今此所ニ來テ居リマセスカ、質問ハ一旦終了致シマシタモ、前川君ガ大體ニ付テ質問ノ其次ノ會ノアル時ニシタイト云フノデスガ、是ハ特ニ許スコトニシテハ如何デセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 モウ其外ノ質問ハアリマセスカ

○長谷場委員 第百條ニ就テ御尋致シマス、是ハ特ニ教職員ノ在職年限ニ限ッテ區別シテ居ルヤウナ感ガアリマスガ

○入江政府委員 ソレハ先程モ津野田代議士ニ御答シタ事ニ關聯シテ居リマスガ、教職員ノ如キハ軍人——殊ニ軍人ガ多イノデアリマスガ、軍人ガ恩給ヲ貰ッテ居リマスル者ガ地方ノ教職員ニナルトキニハ、其恩給ヲ停止セラレズシテ、

而シテ相當ノ俸給ヲ貰フコトニナッテ居リマス、之ヲ統一一致シマシテ普通ノ文官ノ如ク致シマスル、再ビ此教職員ニナルトキニハ地方ハ數倍ノ俸給ヲ支給シナケレバナラス、ソレデナケレバ停止ヲスルコトガ出來ナイ、然ルニ地方ノ財政上ノ關係モゴザイマスカラ、ソレヲ直ニ實行スルコトハ出來ナイ、サスレバト云ウテ地方ノ財政上ヲ根本ニシテ、統一シマスル、非常ニ不幸ナル境遇ニ掛ル、斯ウ云フ關係ガゴザイマスノデ、教職員ニ限リマシテ、現行ノ制度ヲ其儘ニ當分ハ玆ニ置クト云フ例外ヲ設ケタ譯デアリマス、是ガ教職員タル者ノ現ニ受ケテ居ル利益ヲ保護スル所以デアルノデ、文部當局カラモ少ナクトモ地方ノ財政ノ狀況ガ許スニ至ルマデハ、現行法ヲ其儘存置シテ貰ヒタイト云フ希望ガアッタノデ、例外デアアリマスガ玆ニ此規定ヲ置イタ譯デゴザイマス

○長谷場委員 サウ致シマス、尙ホ前ニ廻リマスガ、第六十二條ノ第三項ニ依ッテ他ノ公務員ト較ベレバ、非常ニ優遇シタヤウナ形ニ見受ケラレマスガ、ドウ云フ譯ニナリマスカ

○入江政府委員 一方カラ見レバ優遇ニモ當ルカト思ヒマスガ、ソレハ優遇ノ目的デ斯ノ如キ制度ヲ置イタ譯ニ非ズシテ、府縣ニ於ケル足ラナイ所ノ財政デ、比較的優良ナル教職員ヲ得ルト云フ爲ニ本項ヲ置イタ譯デアリマス

○高橋委員長 大體質問ハ宜シウゴザイマスガ

○津野田委員 第六十三條ノ第二項デアリマスガ、此二百四十分ノ六十ト云フノハ、是ハ何カラ割出シタノデアリマスカ

○入江政府委員 二百四十分ノ一日デ在職年ヲ計算スルコトガ在來ノ現行法デアリマス爲メニ、且又俸給ヲ割ルト云フ數ニ於テ、二百四十分ノ幾ツト云フ計算ガ取扱ヒ易イノデアリマス、同ジク四分ノ一ト云ッテモ同ジデアリマスガ、矢張り基準ヲ二百四十分ノ一ト決メタ譯デアリマス

○津野田委員 少シ少ナクハアリマセスカ

○入江政府委員 御尤デアリマシテ、私共ノ理想カラ申シマスレバ、稍、少キニ失スルノ感ハアルノデアリマス

○高橋委員長 大體ニ亘ッテ質問ガ濟ンダトスレバ、此次ニハ總理大臣ニモ大藏大臣ニモ來テ戴イテ、サウシテ又本當ノ大局ニ付テ二三質問ガアルカモ知レマセスケレドモ、主トシテ討論決議ト云フコトニシテ貰ヒタイト思ヒマス

〔贊成「贊成」ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 是ニテ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時四十一分散會